



学校法人 岩手医科大学

令和4（2022）年度

事業報告書



誠のあゆみ、未来へつなぐ

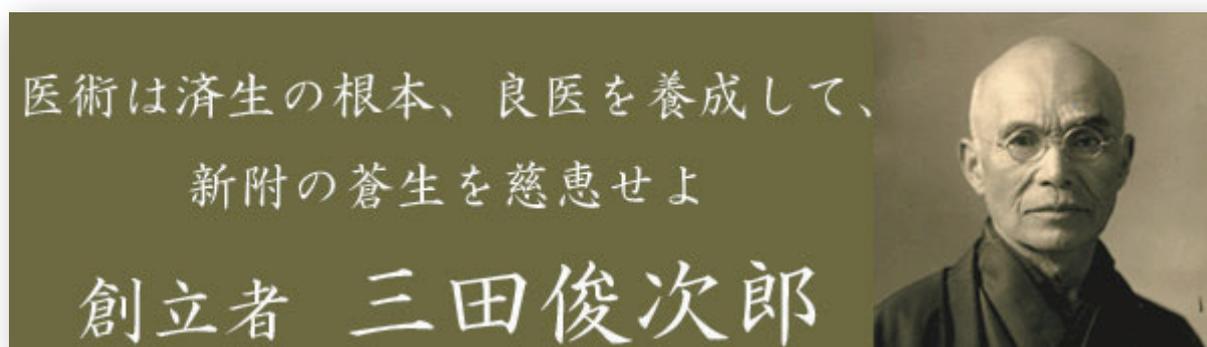
目 次

I 法人の概要	
1. 建学の精神	1
2. 法人の沿革	2
3. 設置する学校	3
4. 入学定員数・収容定員数・現員数	3
5. 理事会・評議員会の開催状況	3
6. 役員等の概要	3
7. 諸規程の主な改正等	4
8. 主な事業の概要	6
9. 主な行事等	22
10. 土地の増減	25
11. 建物等の増減	25
12. 取得した主な機器備品等	26
13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等	27
II 人事の概要	
1. 主な役職人事	29
2. 主な教職員人事	29
3. 教職員総数	29
III 学事の概要	
1. 入学者、卒業（修了）者数	30
2. 学位授与者数	30
3. 文部科学省科学研究費助成事業	30
4. 厚生労働省科学研究費補助金	34
5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	35
6. その他公的機関受託研究等	36
7. 解剖体慰霊祭および解剖体数	37
8. 白寿会員数	37
9. 海外出張者数	37
10. 国家試験成績	37
IV 附属病院の概要	
1. 患者数	38
2. 救急患者取扱件数	38
3. 分娩件数	38
4. アイバンク登録者数	38
5. 手術件数および死亡者数	38
V 財務の概要	
1. 事業活動収支	39
2. 資本収支	41
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	42
4. 令和4年度事業活動収支計算書	43
5. 令和4年度資金収支計算書	44
6. 貸借対照表	45
7. 医療収入内訳	46
8. 令和4年度事業活動収支構成比率	47
9. 令和4年度教育活動収支構成比率	48
10. 経年比較	49
11. 参考：学校法人会計の特徴について	56

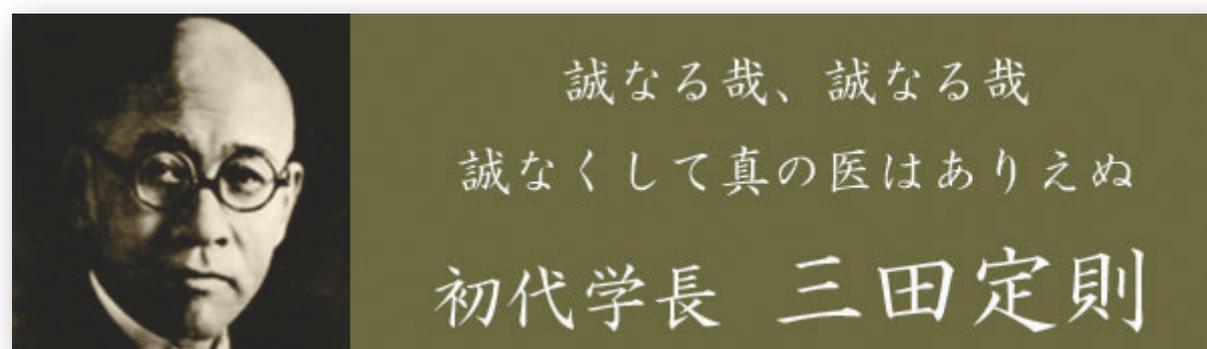
I 法人の概要

1. 建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則 第1章・第1条】



西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤儉力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。



俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更の際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

2. 法人の沿革

明治30年	私立岩手病院開院 医学講習所・産婆看護婦養成所併設	平成19年	矢巾キャンパス第一次事業竣工 薬学部・共通教育センター開設
明治34年	私立岩手医学校設立認可	平成21年	附属病院に循環器医療センターを開設 (附属循環器医療センターを統合)
大正15年	岩手病院診療棟(現一号館)竣工	平成22年	超高磁場先端MRI研究所竣工 附属PET・リニアック先端医療センター開設
昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可	平成23年	矢巾キャンパス第二次事業竣工 医学部・歯学部基礎講座統合 共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組 歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合し、 岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更	平成24年	附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
昭和23年	医学部医学科開設	平成25年	大学院薬学研究科開設 災害時地域医療支援教育センター・ マルチメディア教育研究棟竣工
昭和26年	学校法人岩手医科大学に組織変更	平成26年	共通教育センターを全学教育推進機構に改組
昭和27年	新制岩手医科大学発足	平成28年	岩手看護短期大学開設 矢巾キャンパスにエネルギーセンター竣工 附属病院にPET・リニアック先端医療センターを開設 (附属PET・リニアック先端医療センターを統合)
昭和30年	医学進学課程設置	平成29年	看護学部開設
昭和35年	大学院医学研究科博士課程開設	平成30年	矢巾キャンパスにやはばなかよし保育園竣工
昭和40年	歯学部、教養部開設	平成31年	附属花巻温泉病院閉院
昭和41年	岩手歯科技工士学校開設	令和元年	矢巾キャンパスに新附属病院竣工 法人及び大学の本部を矢巾キャンパスに変更 矢巾キャンパスに附属病院を移転 内丸キャンパスに附属内丸メディカルセンターを開院
昭和42年	歯学部附属病院開院	令和2年	岩手看護短期大学閉学 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科閉科
昭和47年	記念図書館竣工	令和3年	矢巾キャンパスにResident Heim(レジデントハイム)を竣工
昭和51年	岩手歯科技工士学校を 岩手歯科技工専門学校に名称変更	令和4年	矢巾キャンパスに感染症対策センターを竣工
昭和55年	岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設 [現 岩手県高度救命救急センター]		
昭和58年	大学院歯学研究科博士課程開設		
平成2年	サイクロトロンセンター開設		
平成5年	附属花巻温泉病院開院		
平成6年	岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認		
平成9年	創立六十周年記念館竣工 附属循環器医療センター開院		
平成12年	超高磁場MRI研究施設竣工 木の花会館竣工		
平成16年	岩手医科大学歯科衛生専門学校開校 岩手歯科技工専門学校を 岩手医科大学歯科技工専門学校に名称変更 大学院医学研究科修士課程開設		
平成17年	附属病院に歯科医療センターを開設 (歯学部附属病院を統合)		

3. 設置する学校

- (1) 岩手医科大学
 大学院 医学研究科 医学部 医学科
 歯学研究科 歯学部 歯学科
 薬学研究科 薬学部 薬学科
 看護学部 看護学科
- (2) 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生専門課程 (3年制)

4. 入学定員数・收容定員数・現員数 (令和4年5月1日現在)

学 校	学部・学科等	入学定員数	收容定員数	現員数
①岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	200名	112名
	修士課程	10名	20名	12名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	72名	43名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	12名	7名
	修士課程	3名	6名	0名
	医学部 医学科	126名 編入学4名	766名	779名
	歯学部 歯学科	73名	438名	281名
	薬学部 薬学科	80名	680名	361名
②岩手医科大学 医療専門学校	看護学部 看護学科	90名 編入学5名	370名	363名
	歯科衛生専門課程	40名	120名	107名

5. 理事会・評議員会の開催状況

理事会は定例を11回、臨時を2回、評議員会は定例を2回開催しました。

6. 役員等の概要

- (1) 役員等の定員数、現員数、氏名等 (令和5年3月31日現在)

①理 事

定員数 : 7人以上13人以内 現員数 : 11人

理事長 小川 彰 (常勤)

理 事 祖父江 憲治 (常勤) 酒井 明夫 (常勤) 三浦 廣行 (常勤)

三田 ひろみ (非常勤) 三田 義之 (非常勤) 高橋 真裕 (非常勤)

佐々木 真理 (常勤) 河野 富一 (常勤) 三浦 幸枝 (常勤)

小笠原 邦昭 (常勤)

I 法人の概要

②監 事

定員数：2人以上3人以内 現員数：2人

小野寺 勲（非常勤） 池田 克典（非常勤）

③評議員

定員数：27人以上38人以内 現員数：28人

小川 彰	祖父江 憲治	三浦 廣行	河嶋 寛
佐々木 真理	小原 紀彰	佐藤 保	加藤 章信
小笠原 邦昭	松政 正俊	河野 富一	佐藤 和朗
小澤 正吾	遠藤 太	山本 和博	佐藤 悦子
高橋 真裕	三田 ひろみ	三田 義之	酒井 明夫
三上 藤雄	下沖 収	三浦 幸枝	菊池 進
後藤 康文	斎藤 和好	嶋森 好子	高橋 耕

(2) 役員等の異動

①監 事

（再任）小野寺 勲（令和4年8月1日付）

（再任）池田 克典（令和4年8月1日付）

②評議員

（新任）山本 和博（寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和4年4月1日付）

(3) 責任免除・責任限定契約の状況

私立学校法及び寄附行為に従い、令和2年4月1日から責任限定契約を締結している。

①対象役員の氏名

- ・非業務執行理事*：三田 ひろみ、三田 義之、高橋 真裕
- ・監 事：小野寺 勲、池田 克典

※非業務執行理事とは、理事長、常務理事、業務を執行したその他の理事又は法人の職員でない理事をいう。

②契約内容の概要

当該役員がその任務を怠ったことにより学校法人に損害を与えた場合において、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額（責任限度額）を限度として損害賠償責任を負うものとしている。

③契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約において、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに責任を限定することを明確にしている。

7. 諸規程の主な改正等

(1) 附属内丸メディカルセンター規程の一部改正（令和4年4月25日改正、令和4年4月1日施行）

内丸メディカルセンターの基本姿勢を先頭とした基本方針の並び替え及び文言の整理、センター長補佐の配置、医科診療科への臨床腫瘍科、睡眠医療センターへの歯科放射線科の追加、歯科の組織の現状

に則した見直しを趣旨とする一部改正

(2) 公益通報者の保護等に関する規程の一部改正（令和4年5月30日改正、令和4年6月1日施行）

公益通報者保護法の一部改正及び同法に基づく内部通報対応体制の整備に関する指針の策定に伴い、所要の改正を趣旨とする一部改正

(3) 大学院授業料減免規程の制定（令和4年7月25日制定、令和5年4月1日施行）

授業料減免による大学院志願者の増加と入学者の確保を図ることを趣旨とする規程制定

(4) 岩手医科大学学則の一部改正（令和4年9月6日改正、令和5年4月1日施行）

令和5年度の医学部入学定員を恒久定員95名、岩手県地域枠としての臨時定員35名の合計130名とすることを趣旨とする一部改正

(5) 育児休業等に関する規程等の一部改正（令和4年9月26日改正、令和4年10月1日施行）

育児・介護休業法の改正に伴い、職員の育児休業等に関する規程、職員の介護休業及び介護短時間勤務に関する規程、臨時職員就業規則の関係条文を修正することを趣旨とする一部改正

(6) 医療専門学校学則の一部改正（令和4年9月26日改正、令和5年4月1日施行）

社会の要請に応える歯科衛生士を養成するため教育目標の見直しを行うとともに、アドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを明確化し、カリキュラムを再編すること等を趣旨とする一部改正

(7) 名誉教授の称号に関する規程の一部改正（令和4年10月24日改正、令和4年11月1日施行）

名誉教授の称号授与基準等の明確化を趣旨とする一部改正

(8) 組織規程の一部改正（令和4年10月24日改正、令和5年1月1日施行）

医学部内科学講座の膠原病・アレルギー内科分野をリウマチ・膠原病・アレルギー内科分野に名称変更することを趣旨とする一部改正

(9) 附属病院規程及び附属内丸メディカルセンター規程の一部改正（令和4年11月28日改正、令和5年1月1日施行）

①附属病院診療部門及び附属内丸メディカルセンター医科診療科の膠原病内科をリウマチ・膠原病・アレルギー内科に名称変更すること、②附属病院特殊診療部門のリウマチ・膠原病センターを臨床免疫センターに名称変更し、構成診療科に消化管内科、小児科及び皮膚科を追加すること、③附属内丸メディカルセンター医科診療科にリハビリテーション科を追加することを趣旨とする一部改正

(10) 職員就業規則等の一部改正（令和5年2月27日改正、令和5年4月1日施行）

岩手県及び国において、職員の定年等に関する条例等の関連法令が改正され、2031年度にかけて定年が段階的に延長されることに伴い、本学職員の定年を65歳とし、2031年度に向けて段階的に引上げることを趣旨とする職員就業規則及び再雇用職員の取扱いに関する規程の一部改正

I 法人の概要

(11) 組織規程の一部改正（令和5年3月27日改正、令和5年4月1日施行）

知的財産本部とリエゾンセンターを統合し、研究開発・共創センターに組織改編することを趣旨とする一部改正

(12) 学則の一部改正（令和5年3月27日改正、令和5年4月1日施行）

医学部、歯学部及び薬学部における令和5年度の教育課程再編を趣旨とする一部改正

(13) 学業奨励奨学金規程（歯学部・薬学部）及び薬学部育英奨学金規程の一部改正（令和5年3月27日改正、令和5年4月1日施行）

奨学金の返還年度を明確にすることを趣旨とする一部改正

(14) 学納金減免規程の一部改正（令和5年3月27日改正、令和5年4月1日施行）

専任職員の子の定義を改正の上、減免対象の拡大及び減免率の変更等を趣旨とする一部改正

8. 主な事業の概要

(1) Vision2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画の実施状況

本法人は、私立大学における経営環境が一層厳しさを増す中、安定的な運営を行い、使命を果たしていくため、2020年3月に「Vision2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画」を策定しました。

2022年度は、昨年度に引き続き10月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、大学の財政状況や社会情勢等も踏まえて本計画の一部見直しを行い、2023年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。

【中間検証結果】

- ・基準日 2022年10月1日
- ・対象事業 中期計画に基づく2022年度実施予定事業（全124事業）

(ア) 計画どおり達成した 28事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
教育・研究 関係	大学院医学研究科における教育課程の充実	ICTの充実
		大学院教育の実質化と管理体制の整備
	医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進	社会の要請及びステークホルダーに応じた教育プログラムの策定
		教員の教育研究活動能力の向上
	教学 IR(Institutional Research)の推進	ファクトブックの継続的作成と公開
		学修支援アンケートの実施と解析、公表と学生へのフィードバック
	IR活動に関する情報収集	
	初年次教育の強化	カリキュラムの見直し

	シミュレーション教育の充実	機器の新規購入・更新と維持管理
	学生支援体制の推進	キャンパスライフガイドの作成
		学生との意見交換
	教育設備（矢巾キャンパス施設の視聴覚機器）の更新	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器更新
	古書の整備	貴重書のレッドロット状態の補修
	地域への情報発信	内丸図書館医療情報コーナーでの情報提供
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	大学案内発行、受験生専用ホームページの管理運営
	学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	就活支援ブック・広報用リーフレットの印刷等
		求人検索システムの運用
	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	満足度の高いオープンキャンパスの工夫
補助事業及び委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備	文部科学省補助金を活用した高額機器の整備
診療関係	医師の時間外労働規制に対する取り組み	産業保健の仕組みの活用（安全衛生委員会への報告、長時間勤務者との面談、診療科毎の対応協議）
		タスク・シフティング（業務移管）の推進（診断書代行作成、特定行為者の養成）
管理運営関係	情報セキュリティ強化	教育関連ファイルの共有環境整備
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾キャンパス）	外壁修繕：東研究棟
		機械設備修繕（熱源）：動物研究センター冷温水発生機修繕
		電気設備修繕（照明）：照明制御システム更新（一次事業分）
	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）	防水・屋根修繕：継続修繕（現状維持）
		外壁修繕：3・4号館北面セットバック部タイル壁修繕
		電気設備修繕（PCB汚染電気機器取替・廃棄処分）：旧東病棟救急センター電気室冷凍機変圧器撤去処分、10号館電気室変圧器更新・処分

(イ) 計画どおり達成する見通し 94事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立120周年記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	歯学部移設計画・内丸メディカルセンター入院棟改修計画
	内丸地区跡地活用計画の検討推進	内丸地区跡地活用計画の検討推進
	事業活動資金の確保に向けた募金活動の継続実施	広範にわたる募金活動の展開（継続的な募金パンフレットの作成、送付、ホームページの更新） 顕彰活動の継続実施（表彰、記念品贈呈、寄付者銘板の作成）
教育・研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実	情報公開の充実及び募集広報方式の改革

I 法人の概要

医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進	医師国家試験対策
	学修支援体制の強化
大学院歯学研究科における学位論文の審査基準の設定及び学生への事前周知	学位論文審査基準の見直し
歯学部入学生の確保	教育課程の充実
	学生受け入れ方針の検証・改定
	広報活動の充実
	入試科目、入試方法の検証、検討
歯学部における教育研究組織の整備	計画的な教員の選考
	教員選考方針の検討
	組織編成、定員の見直し
薬学研究科における4つのポリシーの見直しと教育課程の整備	薬学研究科の4つのポリシーの見直し
	学位授与に係る基準や規程の見直し
	薬学研究科の指導教員の研究・教育能力の向上
	学内の他研究科の学位取得を支援する取り組み
	薬学研究科修士課程の入学者確保対策
薬学部の適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み	広報活動による薬学の紹介
	ホームページによる情報発信
	高大連携の取り組みを実施
薬学部における教育の質向上と学修成果の判定方法の開発に向けた取り組み	教育的質の向上を目指した教員組織体制の見直し
	クラス担任制度の強化
	学習内容の見直し
	学修成果の判定
看護学部完成年度以降も学部を安定的・発展的に機能させていくための教育研究基盤の再構築	看護学部の将来構想を踏まえた中長期的採用計画の策定と履行
	戦略的な国家試験対策の積極的な展開
全学的教育改革の支援活動	全学的教育改革の支援
	FD・SDの積極的な実施
	多職種連携等の全学的な科目の検討
教学 IR(Institutional Research)の推進	アセスメントテストの実施と解析
	集約情報のデータベース化及び分析・可視化ソフトの導入
	教学 IR センター設立による学修成果の可視化等の推進
初年次教育の強化	学生支援や学修支援制度の見直し

		入学前教育
	実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新	物理学の実習機器等整備
		化学の実習機器等整備
		生物学の実習機器等整備
		他科目等に関する機器等の整備
	学生支援体制の推進	学生支援方針・指針の見直し
	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	研究成果の社会還元支援（特許等知的財産権利化・維持支援、研究成果の公開と連携模索支援）
		教育研究の高度化に対応した教職員及び学生に対する啓発（知的財産、研究活動におけるリスクマネジメント）
		地場産業クラスターや産学連携推進協議会等の集積拠点への参画による研究開発の促進
		競争的資金（産学連携関係）への組織的な斡旋と申請内容の多角的視点からのブラッシュアップ等獲得支援
	地域への情報発信	図書館連携による医療・健康情報企画展示
	学修及び教育研究環境の整備を目的とした蔵書構築プランの策定	蔵書構築マニュアルに則した図書館運用
		プランに則した収書及び適正な在庫配置への変換
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	蔵書の在り方について評価・分析（利用者からの意見収集方法の検討等）
		入試制度改革の推進
		学生募集に係る広報活動（広告掲載、進学相談会、進学情報サイト掲載）
		オープンキャンパスの開催
	学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	インターネット出願システムの導入・運用
		企業研究セミナー（学内合同企業説明会）
	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	キャリア支援講演会・ガイダンスの開催
		入学定員充足率向上を目指した広報活動の展開
補助事業及び委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備	国家試験合格を見据えた学習支援の強化
		研究施設スタッフのスキルアップ
	災害対応医療人の育成	研究施設の利用者数増加のためのサービス内容の周知
		日本災害医療ロジスティクス研修
		災害時実践力強化事業
		災害医療研修会
	東北メディカル・メガバンク計画	いわての師匠事業
	東北メディカル・メガバンク計画	東北メディカル・メガバンク計画
	岩手県ドクターヘリ運航事業	岩手県ドクターヘリ運航事業
	岩手県こころのケアセンター事業	岩手県こころのケアセンター事業

I 法人の概要

	いわてこどもケアセンター運営事業	いわてこどもケアセンター運営事業
診療関係	病院運用の効率化に向けた取り組みの推進	外来運用の効率化に向けた取り組み
		病棟運用の効率化に向けた取り組み
		病院医療情報システム整備
		医療経費削減に向けた取り組み
	医師の時間外労働規制に対する取り組み	医師の労働時間管理の適正化に向けた取り組み (時間外労働時間の管理、勤怠システムによる時間外労働時間の把握)
		医師の労働時間短縮に向けたその他の具体的な取り組み (勤務間インターバルの実施、連続勤務時間制限の実施、月 155 時間超の者への労働時間短縮措置の実施)
	内丸メディカルセンター病院機能評価受審に向けての整備	準備委員会等の設置、運営
		病院機能評価受審費用の支払
		病院機能評価改善支援事業 (サーベイヤール派遣)
		施設設備等改修
管理運営関係	ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進
		中期計画及び事業計画の実行と進捗・達成状況等の管理
	事務局の業務改善に向けた取組	事務局業務における RPA 化の推進、RPA に精通した人材の育成
		ワークフローシステムの導入
	高品質・高信頼な情報ネットワークの運用	矢巾・内丸学術ネットワーク更新
	勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムの導入
	附属病院移転に係る借入金の返済と借入金利息の支払い	借入金の返済 (2034 年 6 月まで)
		借入金利息の支払い (2034 年 6 月まで)
	資金計画のための財務分析	資金計画のための財務分析
	本法人保有資産の有効活用	不動産の有効活用に向けた検討
		物品 (機器・備品等) の有効活用に向けた体制整備
	大学運営の適切性についての点検・評価及びその結果に基づく改善・向上に向けた監査の実施	標準的な内部監査手続きの徹底
		法人運営の効率化に資する内部監査の実施
内部監査に関する基本的事項の周知・有効性に関する啓発		
施設設備関係	図書館防災対策	傾斜スライド棚取付
	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事

(ウ) 計画どおり達成する見通しが立たない 2事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立 120 周年 記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建 設計画（仮称）の推進	大学財政状況等の検証及び計画検討・矢巾内丸病院機能のあ り方検討
教育・研究 関係	全学的教育改革の支援活動	e-ラーニングツール等教育資源の検討・整備

【一部変更等を行った計画】

(ア) 変更 7 計画

区分	中期計画タイトル
創立 120 周年記念 事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進
教育・研究関係	教育設備（マルチメディア教室ノートパソコン）の更新
	教育設備（矢巾キャンパス施設の視聴覚機器）の更新
補助事業及び委託 事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備
管理運営関係	情報システムの統合化
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾キャンパス）
	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）

(2) 2022 年度事業計画の実施状況

(ア) 創立 120 周年記念事業関係

事業計画	2022 年度の実施状況
① 内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	<p>内丸メディカルセンターの施設は、築後 50 年を経過した建物が多く老朽化が著しいことから、早期の新棟建設に向けた計画の推進が必要な状況にあり、2022 年度は歯学部・歯科医療センター移転計画の具体的な検討を進め、併せて大学財政状況の検証及び矢巾・内丸の病院機能のあり方の検討を継続しました。</p> <p>一方で世界情勢の変化によるエネルギー価格の急激な上昇や物価高騰、新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行した後の医療体制の変化等、今後の社会情勢を見通すことが困難であることから、歯学部・歯科医療センター移転計画を含めた本計画の推進について改めて検討を行い、財政状況の検証及び病院機能のあり方検討を継続することとしました。</p>
② 内丸地区跡地活用計画の検討の推進	<p>内丸地区跡地活用の検討に当たり、岩手県、盛岡市、盛岡商工会議所及び本学の事務局による四者事務連絡会議にて、大学の進捗状況や盛岡市の内丸地区再整備及び新市庁舎整備の検討状況について情報共有を行い、引き続き活用計画の立案・策定に向け検討を行っていくこととしています。</p> <p>2022 年度は、盛岡市が主催する内丸地区再整備検討懇話会及び検討会議（実務者会議）が開催され、内丸地区周辺の関係機関（国・県・市・大学・金融・報道・商業等）による意見交換の内容を踏まえ 2023 年度末に策定する（仮称）内丸プランの中</p>

		間とりまとめが作成されました。今後、更に具体的な検討を行い関係機関や市民、有識者等と広く意見交換を重ねながら（仮称）内丸プランを策定する予定となっています。
③	事業活動資金の確保に向けた募金活動の継続実施	<p>【学術振興資金募金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集活動：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、教育・研究・診療活動の経常的資金を確保するため、募金パンフレットの送付やホームページ等を通じて支援の拡大を図りました。 ・顕彰活動：WEB 芳名録と岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰を行いました。 <p>【創立 120 周年記念事業募金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集活動：募金ホームページを通じて募集活動を継続しました。 ・顕彰活動：顕彰規程に基づき、記念品及び感謝状の贈呈を行った他、WEB 芳名録及び岩手医科大学報で芳名を紹介し寄付者の顕彰を行いました。また、2022 年 11 月に附属病院に設置している寄付者銘板をリニューアルしました。

(イ) 教育・研究関係

事業計画		2022 年度の実施状況
①	大学院医学研究科：教育課程の充実と情報公開の推進	感染症対策と学生の利便性を考慮し、2021 年度から共通教育科目・基礎科目の講義を全面的にオンライン形式として運用し、動画の配信や受講票・履修報告書の提出管理を計画的に遅滞なく進めることができました。
②	医学部：学修支援体制の強化による医師国家試験合格率と進級・卒業率の向上	医師国家試験合格率の向上及び原級・卒業留置者の減少に向けた対策として、第 3～6 学年の留置者と成績低迷者には、教務委員会・学修支援委員会・担任が中心となり、基礎知識の向上、自己学修態度の定着、モチベーションの維持・向上を目的とした少人数双方向性学修支援プログラムを更に充実させ、国家試験対策と成績低迷者対策を強化しました。また、教員 FD を実施し、作問能力の向上や学修支援の強化を図るとともに、総合試験ブラッシュアップの徹底や教学 IR の積極利用等を通して進級/卒業試験・進級/卒業判定の更なる適正化を図りました。
③	大学院歯学研究科：学位論文の審査基準の設定及び学生への事前周知（早期課程修了を含む）	「学位論文審査の手引き」内に記載されている学位論文審査の基準の見直しを継続的に行いました。併せて、学位論文審査に至るまでの初期審査から中期審査の評価項目及び学位審査に至るまでの課程を示すフロー図や学位授与に関する規程の内容についても継続的に見直しを行い、学位取得までの各段階で必要とされる研究の達成度について明文化するとともに、各審査に必要な手続きについて明確化することで学位取得への課程を支援しています。
④	歯学部：教育課程の充実	担当チューターによる、学生個々の学修管理や個別指導を引き続き行いました。低学年では、歯学教育支援システムによる演習や事前課題を課した上で、総合試験形式の試験を取り入れて知識の確認を行い、個別にフィードバックすることで知識の定着を図るシステムの構築を進めました。高学年では、第 6 学年において弱点分野克服のための補講や基礎と臨床で関連する分野の知識統合を目的とした特別講義を実施した他、第 5 学年に第 6 学年の総合試験を同時受験させ、次年度の国家試験を見据えた学修を促しました。併せて、指導教員の教育力の更なる向上を目指し、年 2 回の教育研修会を実施しました。

⑤	歯学部：計画的な教員選考	退職等により欠員が生じる講座について、選考委員会を設置の上、教育・研究・臨床の能力や実績を十分に考慮するとともに、歯学部の編成上の方針に配慮した上で計画的に選考を進めました。退職教授の後任については、年度内の就任に至りませんでした。教授代理を立て、運営に支障が無いよう配慮しました。
⑥	薬剤師養成教育の新機軸と入学者確保に向けた薬学部の魅力・発信力の強化	<p>本学薬学部の主たる目的は「薬学の最新知識のみならず、医療人としての総合的な知識、技能、態度を備えた薬剤師の養成」であるため、国家試験合格率及び標準修業年限内卒業率を全国平均レベルまで改善するように取り組んできました。目的達成度の指標の一つである薬剤師国家試験においては、3年連続で全国平均を上回る新卒合格率を達成し、2020年度秋卒者から2022年度卒業までの既卒合格率においても、全国平均を上回る結果となりました。また、標準修業年限内卒業率の改善に向けて、低学年は薬学教育コア・カリキュラムの小項目単位で「わかる」から「できる」に昇華させるためのきめ細やかな教育、アウトプットを重視した教育、フォローアップ・反復教育等を実践し、6年時の卒業延長率の高さに対しては、6年間の学びを再認識する時期の前倒しを含めた対策を実施しているところです。次年度は、この取組の検証と評価を行い、改善に向けた糸口を探っていきます。</p> <p>入学者の確保については、学部独自ホームページの運用や出張講義、高校訪問等の従来広報活動に加えて、高校生をターゲットとするSNSの運用、学部単独のオープンキャンパスを実施する等、薬学部の魅力を積極的に発信しました。</p> <p>この結果、2023年度の入学者数は、これまで減少の一途をたどっていた状況から、わずかではありますが増加に転じていますので、今後も根気強く本活動を継続するとともに、時代のニーズに対応した対策を検討していきます。</p>
⑦	設置から4年間の検証結果等を踏まえた教育の質保証と教員組織の充実	<p>看護学部における教育の質保証と向上を図り、学位授与方針に示した能力（知識・態度・技術）に係る学修成果を把握するため、2021年度に作成したコンピテンス達成ロードマップ・マトリックス（2021年度以前入学者用）をWebClass上に公開し、学生と教員が共通認識のもと授業を行いました。また、2022年度以降入学者用のコンピテンス達成ロードマップ・マトリックスを作成しました。</p> <p>教員組織については、大学設置基準、保健師助産師看護師学校養成所指定規則及び看護学教育分野別評価の各基準を遵守し、教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を維持できるように教員配置・採用を行いました。</p> <p>国家試験対策においては、保健師・助産師・看護師国家試験結果等の分析に基づき、戦略的な対策を積極的に展開した結果、保健師・助産師・看護師国家試験すべてにおいて、高位合格率を維持しました。</p>
⑧	全学的教育改革の支援活動	<p>教育の質向上を目的とし、以下の新たな取組等を通じて全学的教育改革を推し進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育におけるICT活用の推進に関する方針及び計画の策定 ・多職種連携科目に係る部会設置と横断的検討 ・各教育課程改善点検のサイクル化について方針策定
⑨	教学IR（Institutional Research）の充実	<p>教学データの可視化を進め、各学部等の教育改革及び点検に資する情報を提供するために、教学IRセンターを立ち上げ、以下の取組を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種情報の経年変化を記録したファクトブックの継続的作成と公開 ・学修支援アンケートの見直し、実施、公表と学生へのフィードバック ・アセスメントテストの実施と解析 ・IPE科目において調査している社会的スキル評価（KISS18）のデータ収集 ・IR活動に関する情報収集

⑩	教養教育、準備教育に係る教育見直しと高大連携の改善	入学前教育から専門教育への橋渡し教育まで、時代の変化に対応した教育への改善を図る一環として、岩手県高等学校長協会との協定に基づき協議会を開催し、昨年度の情報共有・相互理解に基づいた入学前教育からの学修支援の強化について、分科会におけるより実務的な検討を進めました。また、情報社会の進展に対応して、情報・データサイエンス・AI 関連のカリキュラム整備を図りました。
⑪	実習関連機器等（教養教育センター）の年次更新	矢巾キャンパス開設時に整備した教養教育センターの実習関連機器等について、経年劣化状況や環境変化に伴う必要台数・機器を検討の上、計画的な更新・整備を行いました。
⑫	シミュレーション教育環境の整備	学生及び医療従事者に対する医療技術の教育や研修の場として、実効性のあるシミュレーション教育を行うことで医療の質と安全を担保するとともに、技術的援助並びに教材の管理を行い、シミュレーション教育の充実を図りました。
⑬	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器の計画的更新（6か年計画4年目）	矢巾キャンパス施設の講義室等に設置している視聴覚機器（プロジェクタ、マイク設備、実習用ディスプレイ・カメラ）は、設置から10年以上が経過し、部品の生産終了等により修理対応ができないことから、2022年度は、6か年計画4年目として、講義室のプロジェクタ1式、マイク・チューナー設備等4式、実習室の液晶ディスプレイ12式・書画カメラ2式の更新を行いました。
⑭	入試制度改革の推進と戦略的な学生募集活動	入学試験について、公平かつ公正な選抜を行うため、学生募集要項を公表しました。医学部では、新たに一般選抜地域枠D（全国枠・診療科指定）を設け、アドミッション・ポリシーに基づく選抜を実施しました。また、出願方法については、インターネット出願システムを導入し、受験生の出願手続きの負担を軽減しました。今後も新学習指導要領に合わせた入学者選抜の実施に向けて検討を進めます。学生募集については、進学相談会への参加や、受験生専用サイトや各種メディアを通じて広報活動を行い、志願者を確保しました。また、大学の魅力を発信するため、WEBオープンキャンパスや個別相談会等のイベントを積極的に開催しました。
⑮	古書・貴重書の修復・保管	革装丁の貴重書について、レッドロット状態（革の表面が赤茶けた粉状に劣化した状態）のものの内、10冊の修復を実施しました。
⑯	地域への情報発信	岩手県内図書館で医療・健康情報に関する連携企画展示を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年7月「やってみよう！セルフメディケーション」：セルフメディケーションをテーマに6館7カ所で開催 ・2023年2月「フレイル～健康と介護のまん中」：フレイルをテーマに6館7カ所で開催
⑰	蔵書構築プランの策定	年々価格が高騰する外国雑誌や急激な為替変動への対応が続いていることから、長期的な視野による蔵書構築プラン策定に向けて、次項目の具体化に向けた検討を進めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・学修及び教育環境整備のための図書の継続的収集 ・研究支援のための文献検索・情報収集環境の整備 ・高度な医療のための臨床支援環境の整備 ・地域貢献の観点からの一般市民への情報提供
⑱	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	【ワンストップ相談窓口機能】 医療系総合大学としての最先端の研究成果を知的財産化するために、ワンストップ相談窓口としての機能を常設し、対応可能者を3名配置しました。 【権利化支援と権利の維持管理機能】 知財専門家や TLO 等技術移転機関と連携した発明の権利化支援と権利の維持管

		<p>理を行うことで、適切な知財マネジメントを実施し、9件の特許出願、5件の特許の設定登録、保有する68件の知的財産管理を実施しました。</p> <p>【社会連携・貢献機能】 保有する知的財産を企業等へ15件（継続含む）実施許諾等し、研究成果を社会還元しました。</p> <p>【研究成果発信機能】 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、展示会への大々的な出展は見合わせましたが、県内開催のマッチングフェアにて歯学部の研究シーズを発表しました。また、WEB上で研究シーズ集を継続して公表しました。</p> <p>【人材育成機能】 個別発明相談会を密を避ける方法で開催し2件の新規相談があり、研究者の知的財産に関する理解を深めるとともに、発明の促進を図りました。また、研究リスクマネジメントの一環として利益相反セミナーを開催し、教育研究の高度化に対応した教職員及び学生の育成を図りました。</p> <p>【外部機関との有機的な連携機能】 行政、産業クラスター等主催の連携会議や情報交換会への積極的な参画を通して有機的な連携を図り、産学連携の可能性を模索するとともに、情報収集に努めました。</p> <p>【競争的資金(産学連携関係)への組織的な斡旋等獲得支援機能】 産学連携の初期の段階から外部機関の協力を得つつ研究に参画し、2022年度いわて戦略的研究開発推進事業の採択に向けて研究者を支援し、採択後においても研究者と連携して産学連携の推進に努めました。</p>
⑱	学生支援体制の推進	<p>毎年度全学生に配付している「キャンパスライフガイド」は、作成時に現状に即した内容に更新し、年度初めに新入生に対して開催される学生生活ガイダンスにおいて活用方法を周知することで、学生が学生支援への理解を深める機会としました。</p> <p>加えて、学生部と学友会または寮生との意見交換の場を設け、学生生活の改善につながる事項に対しては迅速に対応し、学生生活の向上に努めました。</p>
⑳	学生のキャリアビジョンを拡げ、希望する就職を実現するための支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国から届く求人データをいつでも閲覧できるように、資料コーナーや支援システム（求人NAVI）にて情報提供を行いました。 ・薬剤師、看護師の多様な活躍フィールドと業務内容について学生の理解を深めるため、キャリアガイダンス及び学内外の講師による業種研究講演会を開催しました。そのほか薬学部を対象とした企業研究セミナーを開催し、就職活動を円滑に進めるための支援として、企業プロフィール冊子を作成し、学生に配布しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大前よりも件数が減少しましたが、県内を中心とした事業所におけるインターンシップに学生が参加しました。 ・今後の支援事業のより一層の充実を図るため、薬学部6学年と看護学部4学年に対して、在学中の支援に係るアンケート調査を実施しました。 ・卒業生の就職先情報（転職先も含め）等を収集・把握して、センターホームページへ「卒業生の声」として掲載する等、広報活動につなげています。 ・コロナ禍における就職支援の一環として、希望者に就職試験におけるWEB上での面接試験の接続環境構築支援を行いました。
㉑	医療専門学校の入学生確保と国家試験合	<p>【入学生確保に向けた取組】 2022年度は許可が得られた高校への訪問活動を再開し、各種広報媒体への出稿、テレビ等での情報発信に力を入れ、受験生の掘り起こしを図りました。また、近年</p>

I 法人の概要

<p>格率の高位維持</p>	<p>は中学生で将来の希望職業を定めているケースが見受けられることから、中学校の体験学習を2校受け入れ、盛岡近郊の中学校に学校案内を配布しました。オープンキャンパスは全8回を予定通り開催し、延べ61名の参加がありました。社会人の資格取得を応援する「専門実践教育訓練給付制度」の活用を促すためポスターを作製し、歯科医院へ配布し歯科助手への周知に努めました。この結果、2023年度は28名（うち社会人2名）を確保したものの、定員充足には至りませんでした。</p> <p>【国家試験合格率の高位維持に向けた取組】</p> <p>国試解説書を活用した小テスト、補習講義、年間を通じ計26回に及ぶ模擬試験の実施等、より実践的な国家試験対策に取り組みました。成績下位の学生には早い段階で補習を行い、専門基礎分野の学力定着および弱点分野克服を目指し、国試直前まで指導にあたりました。教員の手厚いサポートにより、全員が最後までモチベーションを低下させることなく本番に臨み、2022年度（第32回）歯科衛生士国家試験において、9年連続合格率100%を達成しました。</p>
----------------	--

(ウ) 補助事業及び委託事業関係

事業計画		2022年度の実施状況
①	医歯薬総合研究所研究施設における支援体制の整備	<p>【文部科学省補助金を活用した高額機器の整備（動物環境制御装置）】</p> <p>2022年度文部科学省私立大学私立学校施設整備費補助金の採択により、医歯薬総合研究所動物研究センターに設置している動物環境制御装置を更新しました。</p> <p>【研究施設（機器等）利用者数増加に向けたサービス内容の周知】</p> <p>生命科学研究技術支援センターにて、共焦点レーザー顕微鏡利用者講習会を開催しました。</p>
②	日本災害医療ロジスティクス研修	<p>本研修は、大規模災害時、被災県に支援に入る医療チームとして、円滑な情報収集・調整、資機材や支援物資の運搬、十分な生活環境の確保等、個人のロジスティクス能力向上及び多組織間の連携強化に寄与することを目的としています。2022年度は、東日本大震災の被災地で実践に即した研修を実施し、災害時における医療チームの円滑な活動や被災者に対する効率的な支援活動に資するとともに、災害時対応医療人の育成を図りました。また、冬季災害を想定し、積雪地域に派遣された場合においても、通常の医療支援活動を行うことができるスキルを身につけることを目的とした冬季活動に特化した研修を実施しました。これにより、参加者は冬季の災害医療活動の留意点や危惧される疾病の特徴を学び、野外でのテント設営実習、車両整備実習、通信訓練等を体験することができました。</p>
③	災害時実践力強化事業	<p>岩手県からの委託を受け、自然災害や大規模事故等の発生により要救助者・避難者が大量に発生した場合、発生直後から中長期にわたって適切に医療を提供するために医療従事者、救助関係者、行政職員の密な連携及び災害医療に係る実践力の強化が必要となることから、これら災害医療・救急救助に携わる人材育成を行うべく、次の研修会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネーター研修 ・災害保健医療従事者研修 ・岩手 DMAT 隊員養成研修 ・広域災害医療情報システム（EMIS）操作研修 ・災害医療支援チームロジ研修（初級編、岩手 DMAT 編）
④	災害医療研修会	<p>本研修は、医師、看護師、メディカルスタッフ、学生、消防、警察、自衛隊、行政職員等、職種を問わず災害医療に興味のある方を対象に実施しており「災害医療と</p>

		は何か」といった初歩的な概論から「災害発生時の院内初動対応」や「慢性期における避難所運営」等、実践に即した内容の修得を促しました。
⑤	いわての師匠事業	次世代の災害復興を担う県内の小・中・高校生を対象とした復興教育「いわての師匠」派遣事業に賛同し、災害医療に関する講演・実習を行うことで、関心や興味を促し、将来の災害時に対応できる人材確保につなげました。
⑥	東北メディカル・メガバンク計画	地域住民コホート調査では、詳細3次調査を実施し目標を超える2,700人の協力を達成するとともに、多角的な追跡調査を実施しました。また、健康調査の結果回付、自治体への結果報告等、地域住民の健康維持・増進や被災地域の健康づくり施策を支援しました。バイオバンク構築では、試料・情報の分譲対象を拡大するとともに、大規模ゲノムコホート連携を推進しました。更に、ゲノム・オミックス解析研究や多因子疾患の遺伝情報回付研究を継続し、個別化予防・医療の実現に向けて取り組みました。
⑦	岩手県ドクターヘリ運航事業	関係医療機関や消防機関との連携の下、安全かつ着実に運航を実施し、岩手県内の高度救急医療の体制強化に貢献しました。また、緊急の医療的処置を要する未熟児・新生児を県内の地域周産期母子医療センターである医療機関との間で施設間搬送することについて、2022年4月から開始し、医療スタッフを含めた少ない医療資源の効率運用を進めています。
⑧	岩手県こころのケアセンター事業	<p>岩手県沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、岩手県復興推進プランの中心課題に位置付けられ、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成・普及啓発活動等を中心に活動を行いました。</p> <p>発災から12年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化し、更に、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大も重なり、被災地のメンタルヘルスのリスクが更に増加している状況の中、感染対策を講じながら、個々に寄り添った対応を意識して事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災者支援（沿岸7拠点における相談室活動、その他訪問活動等）：個別支援対応件数7,304件 普及啓発活動（被災住民を対象とした普及啓発活動、保健師等を対象とした人材育成活動等）：普及啓発研修会等125回、3,955人、人材育成等研修会96件、3,328人、関係機関との連絡調整2,935件 大規模災害に対応できる人材の育成：スーパーバイズ2,570件、同行訪問29件、支援者支援（個別対応）1,248件
⑨	いわてこどもケアセンター運営事業	東日本大震災津波に被災した子どもに対するこころのケアを中長期的、安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟1階に設置し活動しています。医療・教育・福祉等関係機関と連携した専門的、継続的なケアに取り組み、2022年度の沿岸地域の延べ患者数は、1,739名でした。

(エ) 診療関係

事業計画		2022年度の実施状況
①	医師の時間外労働規制に対する取組	<p>2022年度は、次の取組を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年4月から出退勤管理システムによる管理を正式に開始しました。当初は入力に不慣れな点もありましたが、結果的に全ての月で対象医師の入力率100%を達成することができました。年間の時間外・休日労働時間数が960時間を超える医師についても、月を追うごとに勤怠システムのデータを精査・修正することに

		<p>より適正な人数を把握することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の健康確保措置の取扱基準を制定し、9 時間の連続した休息時間の確保等について明確に決めました。また、面接指導実施医師についても適切に養成講習会を受講し、長時間労働医師への面接指導に向けた準備を整えています。 ・厚生労働省による管理者マネジメント研修、全国医学部長病院長会議(AJMC) による医師の働き方改革セミナー、岩手県医師会勤務医部会・病院部会による合同講演会等に、附属病院長をはじめ医師・コメディカル・事務局が積極的に参加しました。 ・2022 年 6 月にはテレビ番組『健康大百科』に附属病院長が出演し、岩手県民の皆様に「病状や手術等の説明を、診療日の診療時間内に行うこと」等をお願いしました。 ・タスクシフト/シェアに関し、看護師の特定行為実施件数は着実に件数が増えました。医師事務作業補助者 (MA) については、総勢 34 名の MA が、外来診察室に陪席しての電子カルテ代行入力、診断書作成支援業務を実施しています。 ・2 回にわたり、診療応援先医療機関の宿日直許可取得状況の調査を行いました。各診療科に対しても診療応援先に関する情報提供を継続的に依頼しています。 ・第三者評価に必須の医師労働時間短縮計画は、2022 年 9 月に作成し岩手県へ提出しました。 <p>次年度は、引き続き医師の働き方改革を推進するとともに、医療機関勤務環境評価センターによる第三者評価を受審し、その結果を受けて岩手県へ特例水準の指定申請を行います。</p>
②	<p>病院運用の効率化に向けた取組の推進</p>	<p>2022 年度は、次の取組を実施しました。本取組は、2023 年度も継続して実施していくこととしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来運用及び病棟運用の効率化：患者紹介に係る地域医療機関・開業医等との連携強化を目的として、各医療機関と対面及びオンラインによる面談を実施し、退院支援や転院調整等をよりスムーズに行うための連携を密に図るとともに、当院の情報を記載した連携だよりや外来担当医表を定期的に県内外各医療機関に配布し、診療体制等の周知や附属病院及び内丸メディカルセンターに係る患者さんの受診誤りを抑制するための対応を行いました。また、入退院に係る医師のオーダー締切時間を明確化することで、より効率的な入退院調整の実施に繋げる取組を行いました。 ・患者サービスの向上：患者さんからの投書や意見に対し真摯に対応することで、継続して病院運用の効率化と改善に努めるとともに、外来患者さんや来院者の待ち時間対策及び療養環境のサービス向上を目的として、院内全体への Wi-Fi サービスを導入する取組を実施しました。また、病院ホームページの更新や、入院患者さん向けに入院説明・医療安全等に関する動画を新たに作成し、無料で閲覧出来る配信サービスを開始するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により面会制限がされる中で、患者さんやご家族へのサービスとしてオンライン面会を継続して実施しました。 ・医師業務の負担軽減：当年度の医師事務作業補助者 (MA) 4 名の採用に伴い、医師事務作業補助体制加算 30 対 1 を届出の上、MA34 名体制による運用を開始しました。また、現場の業務効率を上げるため、各診療科の配置要望に基づき、新たに MA8 名の診療科配置を行いました (新規配置：4 診療科、追加配置：4 診療

		<p>科)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システムの整備：各部署からの要望に基づき、電子カルテ関連システムの機能追加やバージョンアップを図るとともに、将来的な医療 DX の推進に向け、病院事務業務の RPA 化検討、ファイル共有による業務効率化の検討、チャットツール試験運用による情報共有環境の改善等の取組を推進しました。 ・SPD の在庫保有の適正化と機器保守費用の削減：在庫の定期検証を継続して実施し、不動在庫の削減に繋げるとともに、機器保守費用の削減に向け、医療機器修理保険への継続加入及び医療システム保守のコンサルティング契約により、保守費用の削減を行いました。
③	感染症対策センターの運用	<p>附属病院が担う高度医療の提供と新型コロナウイルス感染症の重症患者治療との両立を図るため、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、2022 年 4 月に附属病院敷地内に整備しました。当センターでは、新型コロナウイルス感染症の最重症患者にも対応できるように陰圧管理の個室病床 6 床、人工心肺装置 (ECMO)、人工呼吸器、CT 撮影装置等の機器設備を備えており、独立した建物としてセンターの運営が可能となっています。当年度は新型コロナウイルス感染症の第 8 波による感染の再拡大を受けて、県内の各医療機関が院内クラスター等により診療機能の停止や制限を余儀される中で、医師をはじめ、看護師、薬剤師、各種技師等の医療スタッフが連携し、重症患者だけではなく軽～中等症患者を含め多くの感染患者の受け入れを行いました。新型コロナウイルス感染症患者への迅速かつ安全な医療を提供すること、また、特定機能病院として引き続き県内の高度医療を守っていくためにも、今後も当センターを活用した適切な医療体制の提供に努めて参ります。</p>
④	内丸メディカルセンター病院機能評価受審に向けた体制整備	<p>内丸メディカルセンターでは、2021 年度から病院機能評価受審に向けて準備委員会等を立ち上げ、体制整備を行ってきました。</p> <p>2022 年度は医療の質等を向上、スタッフの意識向上を図ることを目的に準備を進め、2023 年 1 月 30 日・31 日に病院機能評価訪問審査を受けました。</p>
⑤	内丸メディカルセンター 1.5 テスラ MRI 装置更新	<p>2001 年に導入した内丸メディカルセンターの 1.5 テスラ MRI 装置は、経年劣化が著しく故障等により診療に支障が生じていたこと、また、装置のアップグレードに制限があり、最新の撮像方法に対応できないことから更新を行いました。</p>
⑥	内丸メディカルセンター中央臨床検査部システムの更新	<p>内丸メディカルセンターの中央臨床検査部システムは、経年劣化による機器の故障が発生しており、一部機器はメンテナンスサービスが終了したことから更新を行いました。</p>

(オ) 管理運営関係

事業計画		2022 年度の実施状況
①	ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	<p>法人の自主行動規範であるガバナンス・コードの実効性をより高めるために、2022 年 10 月時点で実施状況の点検を行い、その結果は機関会議等で確認の上「2022 年度ガバナンス・コードの実施状況に関する報告書」として取りまとめ、ホームページで情報公表を行いました。また、中期計画の着実な達成に向けて、10 月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、財政状</p>

		況や社会情勢等を踏まえて計画の一部見直しを行い、2023年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。
②	事務局業務におけるRPA化の推進、RPAに精通した人材の育成	<p>【RPAの活用推進】 RPAの活用推進により、RPAを利用した業務遂行という業務プロセスを確立しました（2022年11月時点で33件）。加えてRPA利用者からも業務時間の短縮、人的エラーの削減ができたという意見があり、導入効果が現れています。</p> <p>【RPAに精通した人材育成】 2022年度はRPA講習会を3回開催（受講者累計28名）し、RPA人材育成に取り組みました。この結果、既存業務においてRPAの活用による業務効率化の検討や、自らRPA開発に取り組む人材が増えました。</p>
③	ワークフローシステムの導入	他大学におけるワークフローシステムの導入状況調査や意見交換を経て、改めて製品選定を行った結果、大規模組織に対応可能かつランニングコストが優れるAgileWorksの導入を決定しました。2023年1月よりシステム環境の構築を開始し、人事給与勤怠システムや大学認証サーバと接続し、組織やユーザ情報の連携を行いました。同年3月には、事務局内から選出された事務員に対し、システム運用上で必要な知識を習得するため、管理者講習会を実施しました。
④	勤怠管理システムの導入	<p>労働基準法に基づく労働時間の適正な把握・管理及び働き方改革関連法の施行に伴う関連規制の遵守のため、2018年度以降、附属病院移転計画と併せて、勤怠管理システムに必要なインフラ整備と職種毎の段階的な導入を進めてきました。2019年10月からは全職員の出退勤打刻の記録を開始し、2020年1月以降からは順次、事務局、メディカル部門、看護部でシステムの運用を開始しています。</p> <p>2022年4月からは医師を含む教育職員へのシステム拡大を図り、医師の働き方改革において2024年4月から適用される医師の時間外労働の上限規制に対応する基盤を整えました。今後はシステム導入未着手の職員への拡大に向け、鋭意準備を進めます。</p>
⑤	借入金の返済と借入利息の支払い	附属病院移転に係る支払資金として、2019年度に市中金融機関から借り入れた200億円（返済期間15年）について、借入金元本15億4千万円と借入金利息71,245,301円の支払いを行いました。
⑥	財政基盤確立のための財務分析	新型コロナウイルス感染拡大や世界的なエネルギー需要の増加と価格の高騰・物価上昇が、本学の財務状況にどのような影響を与えるかを現状把握・分析し、決算見込みや次年度予算編成を含めた中・長期的な対応策を検討しました。また、財務状況に対する課題を抽出し、計画の見直しを行いました。
⑦	本法人保有資産の有効活用	<p>【不動産の有効活用に向けた検討】 保有不動産の活用方針について、関係者と具体的な協議を行いました。引き続き大学を取り巻く社会情勢を見極めながら、検討していきます。</p> <p>【物品（機器・備品等）を法人全体で有効活用できる体制の整備】 各部署で使用しなくなった機器・備品等を学内限定ホームページで公開し、学内での再利用を促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度新規公開件数22件 ・2022年度供与件数87件（2021年度以前に情報公開したものを含む）
⑧	矢巾・内丸学術ネットワーク更新	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うインターネットを活用した講義や自学自習を安定的に実施できる障害に強いネットワーク環境を整備するため、矢巾キャンパスの老朽化した学術ネットワーク機器320台を更新し、高品質・高信頼な情報ネットワークを整備しました。

⑨	教育関連ファイルの共有環境の整備	学内でのUSBメモリを利用したデータ受け渡しの省力化並びにUSBメモリの紛失及びメール誤送信等の情報漏洩リスクへの対応のため、学内限定ファイル転送システムを整備しました。
⑩	標準的な内部監査手続きの徹底による法人運営の効率化に資する内部監査の実施	令和4(2022)年度内部監査計画に基づき、内部監査要領等に定められた監査プロセスに沿って定期監査及び臨時監査を実施しました。全体として概ね良好でしたが、いくつかの課題等がみられたことから、その改善方策について監査対象部署との意見交換を実施し、解決に向けた取組について提言等を行い、実施可能な部分から対応することとしています。また、以前の監査指摘事項について改善がされていない部署もあったことから、改善する取組について再度提言を行いました。併せて内部監査に関する基本事項の周知や有効性についても啓発活動を行いました。

(カ) 施設設備関係

事業計画		2022年度の実施状況
①	矢巾キャンパス東研究棟外壁修繕	矢巾キャンパス東研究棟は、2007年の第一次移転事業時に建設し、竣工後14年が経過しており、2020年度に実施した建築基準法に基づく外壁全面打診調査において外壁のひび割れやタイルの浮き等を多数確認しました。状態が更に進行した場合、雨水等が屋内へ漏水するばかりでなく、外壁やタイルが落下し人的被害に及ぶ危険性があったことから外壁の修繕を行いました。
②	矢巾キャンパス照明制御システム更新	本システムは、照明の状態監視及び共用部や外灯等の点灯スケジュール制御を行う中央制御システムで、設置後14年が経過し2020年度末には主要部品が生産中止となり、修繕が難しい状況にある中、現場制御側部品の故障による照明操作障害が発生し、復旧はしたものの学生講義等に支障が生じました。 故障が発生した場合、長期且つ広範囲にわたる操作障害が生じ学生講義等に支障をきたす恐れがあったことから、2か年計画で更新を行う計画としており、2022年度は東講義実習棟・東研究棟・体育館・食堂棟・モール棟・外灯・厚生機械棟を更新し、2023年度は西講義実習棟・西研究棟・本部棟・マルチメディア教育研究棟の更新を行います。
③	内丸キャンパス創立60周年記念館防災設備更新	本設備は、創立60周年記念館の火災発生を常時監視する極めて重要な設備となっており、設置後24年が経過し、主要部品が生産中止となり、修繕が難しい状況にある中、電源装置の経年劣化による突発的な故障が発生する等、故障リスクが高まっていたことから更新を行いました。
④	矢巾町・町道1号線の拡幅工事に伴うB敷地駐車場出入口の盛替工事	矢巾町・町道1号線の拡幅工事が南下し、現在T字路となっているA敷地側出入口付近が交差点になることに伴い、中央分離帯が設置されることにより、B敷地駐車場への出入制限が生じることから、交差点予定地付近へのB敷地駐車場出入口の盛替え工事及び地中に埋設している電気設備の移設工事を行いました。
⑤	矢巾キャンパス図書館災害(図書落下)防止対策	重量のある製本雑誌を配架している上部棚板40段を傾斜スライド棚に整備しました。対象の棚板1,036段中786段(76%)が整備済です。

9. 主な行事等

【令和4年】

- 4月1日 新入職員等辞令交付式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室他）
 名誉教授称号授与式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）
 令和4年度新任教員向け全学教育推進機構FD講習会（オンデマンド配信）
 歯学部学業奨励奨学金表彰【2～4学年】（矢巾キャンパス）
- 4月4日 歯学部学業奨励奨学金表彰【5～6学年】（内丸キャンパス）
- 4月5日 岩手医科大学医療専門学校入学式（医療専門学校講義室）（歯科衛生学科36名）
- 4月6日 高度看護研修センター認定看護師教育課程・特定行為教育課程開講式（附属病院10階中会議室）
- 4月12日 岩手医科大学入学式（岩手県民会館・ライブ配信）
 大学院：医学研究科博士課程12名・修士課程3名、
 歯学研究科博士課程12名、
 薬学研究科博士課程1名
 学部：医学部123名、歯学部32名、薬学部32名、
 看護学部90名、医学部編入学生4名、
 看護学部編入学生3名
- 4月15日 岩手医科大学感染症対策センター落成セレモニー
 （感染症対策センター玄関前）
- 4月20日 第23回医学教育講演会（オンライン開催）
- 5月13日 薬学部第5学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 5月22日 岩手医科大学医療専門学校第1回オープンキャンパス
- 6月16日～17日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【2～4、6学年】（矢巾キャンパス）
- 6月20日 第1回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-C実習室）
- 6月22日 看護学部第3学年宣誓式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 6月25日 第85回解剖体慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
 岩手医科大学医療専門学校第2回オープンキャンパス
- 7月21日 第24回医学教育講演会（オンライン開催）
- 7月23日 第1回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
 岩手医科大学医療専門学校第3回オープンキャンパス
- 7月28日～29日 第2回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-C実習室）
 岩手DMAT隊員養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月29日～ 岩手医科大学WEBオープンキャンパスサイト公開
- 8月4日 岩手医科大学医療専門学校第4回オープンキャンパス
- 8月6日～7日 薬学部ミニオープンキャンパス（矢巾キャンパス東1-A講義室他）
- 8月8日 災害時における業務継続計画（BCP）訓練等研修会（災害時地域医療支援教育センター）
- 8月18日 教養教育センターFD（矢巾キャンパス東1-A講義室）
- 8月27日 岩手医科大学医療専門学校第5回オープンキャンパス
- 8月28日 大学院歯学研究科前期入学試験



岩手医科大学入学式



岩手医科大学感染症対策センター落成セレモニー

- 8月30日 第3回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-C実習室）
- 9月3日 第23回全学教育推進機構FD・SD講習会（オンデマンド配信）
- 9月4日 看護学部オープンキャンパス（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟他）
- 9月4日～6日 日本災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 9月6日 岩手医科大学秋季卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）（薬学部22名）
- 9月11日 岩手医科大学医療専門学校第6回オープンキャンパス
- 10月1日 大学院薬学研究科前期入学試験
岩手医科大学医療専門学校第7回オープンキャンパス
- 10月3日 第55回動物慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
岩手医科大学医療専門学校ネームプレート交付式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）
- 10月22日 岩手医科大学医療専門学校推薦入学試験・社会人1期入学試験
- 11月4日 医学部第4学年Student Doctor認定式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 11月16日 大学院医学研究科入学試験【第1回】
- 11月17日 災害保健医療従事者研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 11月19日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（医学部）、総合型選抜（医学部）
- 11月20日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（歯・薬・看護学部）、社会人入学者選抜（薬・看護学部）、帰国子女入学者選抜（薬学部）、編入学者選抜前期（歯学部）、編入学者選抜（看護学部）
- 11月21日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 11月21日～12月2日 大学院医学研究科・歯学研究科・薬学研究科合同教員研修会（動画配信）
- 11月22日 第24回全学教育推進機構FD・SD講習会（オンデマンド配信）
- 11月23日 薬学部ミニオープンキャンパス（矢巾キャンパス東1-A講義室他）
- 11月26日 第2回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
岩手医科大学医療専門学校一般1期・社会人2期入学試験
- 11月29日 第25回全学教育推進機構FD・SD講習会（オンデマンド配信）
- 12月3日 岩手医科大学医療専門学校第8回オープンキャンパス
- 12月4日 災害医療コーディネーター養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月13日 第4回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス西1-D講義室）
- 12月17日 岩手医科大学医療専門学校一般2期・社会人3期入学試験

【令和5年】

- 1月4日 理事長年頭挨拶（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室からオンライン配信）
- 1月12日 岩手災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 1月13日 岩手DMATロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 1月18日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜一次（医学部）
- 1月27日～28日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜二次（医学部）
- 1月30日～31日 附属内丸メディカルセンター病院機能評価訪問審査
- 2月1日～2日 災害医療支援冬季対策～災害医療ロジスティクス研修（冬季版）～（災害時地域医療支援教育センター）

I 法人の概要

- 2月 3日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜前期（歯・薬学部）、大学入学共通テスト利用選抜前期（歯学部）
- 2月 6日 第5回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東 4-C 実習室）
岩手医科大学入学者選抜：一般選抜前期（看護学部）
- 2月 7日 大学院歯学研究科中期入学試験
- 2月 9日 量子科学技術の分野に関する学校法人岩手医科大学と青森県との連携協力に関する協定締結式（青森県八戸市）
- 2月 14日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学選抜一次（医学部）
- 2月 17日 大学院医学研究科入学試験【第2回】
- 2月 20日 岩手県高等学校長協会との高大連携会議（オンライン開催）
- 2月 21日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学選抜二次（医学部）
- 2月 24日 岩手医科大学入学者選抜：転部入学者選抜一次（医学部）
- 2月 25日 岩手医科大学医療専門学校一般3期・社会人4期入学試験
- 3月 4日 大学院薬学研究科後期入学試験
企業研究セミナー（矢巾キャンパス東講義実習棟）
- 3月 6日 定年退職教授による最終講義（矢巾キャンパス大堀記念講堂）（菅井有教授、小澤正吾教授、佐塚泰之教授、三浦幸枝教授）
- 3月 7日 岩手医科大学医療専門学校卒業式（医療専門学校第3講義室）（歯科衛生学科 33名）
- 3月 8日 歯学部第1回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講義室）
- 3月 9日 大学院医学研究科入学試験【第3回】
- 3月 10日 岩手医科大学卒業式（岩手県民会館・ライブ配信）
大学院：医学研究科博士課程 8名・修士課程 9名
歯学研究科博士課程 13名
薬学研究科博士課程 1名
学部：医学部 120名、歯学部 24名
薬学部 63名、看護学部 89名
- 3月 13日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜後期（歯・薬・看護学部）、一般選抜追試験（医学部）、大学入学共通テスト利用選抜後期（歯学部）、編入学選抜後期（歯学部）
- 3月 17日 岩手医科大学医療専門学校一般4期・社会人5期入学試験
- 3月 20日 第26回全学教育推進機構FD講習会（オンデマンド配信）
- 3月 22日 高度看護研修センター認定看護師教育課程・特定行為教育課程修了式（附属病院10階研修室）
- 3月 24日 歯学部第2回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講堂・オンライン開催）
大学院歯学研究科後期入学試験
- 3月 29日 第3回看護学部FD・SD研修会（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
- 3月 31日 定年退職者等辞令交付式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
名誉教授称号授与式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）
教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A講義室）



岩手医科大学卒業式

10. 土地の増減

(1) 土地

増加			247.39 m²	18,980,000 円
[内訳]	1	遺贈による取得 (盛岡市肴町)	177.05 m ²	14,000,000 円
	2	遺贈による取得 (同上)	70.34 m ²	4,980,000 円

11. 建物等の増減

(1) 建物

増加			72.72 m²	2,957,142 円
[内訳]	1	矢巾キャンパス西研究棟 3D 解析室内 X 線室設置工事	0 m ²	2,269,810 円
	2	感染症対策センター (附属病院本体庇) 工事	0 m ²	687,331 円
	3	遺贈による取得 (盛岡市肴町家屋)	72.72 m ²	1 円

(2) 建物附属設備

増加				30,006,390 円
[主な内訳]	1	内丸メディカルセンター入院棟防災設備更新工事		25,850,000 円
	2	超高磁場先端 MRI 研究センター-NMR 移設に伴う改修工事 (電気設備)		1,907,400 円

(3) 構築物

増加				15,733,093 円
[主な内訳]	1	感染症対策センター工事 (通路シェルター)		9,686,399 円
	2	矢巾キャンパス B 敷地出入口盛替え舗装工事		2,951,504 円
	3	矢巾キャンパス B 敷地出入口盛替え緑化工事		1,038,000 円

12. 取得した主な機器備品等

(1) 医学部	218,327,580円		
1 矢巾A・B敷地学術ネットワーク更新	1式	10 超音波診断装置ARIETTA650DeepInsight	2式
2 動物環境制御装置マルチスポットエアコン	1式	11 汎用超音波画像診断装置SonositePX	1式
3 印刷機ORPHIS	1式	12 脳波計EEG-1250ニューロファックス	1式
4 Agilent4200TapeStationSystem	1式	13 血液浄化装置AcuFilMulti55X-III	1式
5 双方向履修管理システム用サーバ	1式	14 血液浄化装置ACH-ΣPlusiTypeM	2式
6 窒素ガス発生装置	1式	15 VISERAELITE II ビデオシステム	1式
7 大堀記念講堂マイク設備	1式	16 新生児・小児用人工呼吸器	1式
8 液晶ディスプレイ	1式	他	
9 移動式遺体保存プール	2式		
10 近赤外線治療器スーパーライザーPX	1式	(7) 岩手県高度救命救急センター	58,209,679円
他		1 EVISX1ビデオシステムセンター	1式
(2) 歯学部	43,119,682円	2 血液浄化装置AcuFilMulti55X-III	1式
1 GE汎用超音波画像診断装置VersanaActive	1式	3 トータルリフトベッド	1式
2 内視鏡システムビデオシステムセンター	1式	4 解析付心電計(多機能心電計)カーディマックス	2式
3 ThermalCyclerDiceRealTimeSystemIIIwithPC	1式	他	
4 エステチカE70VisionT	1式	(8) 附属内丸メディカルセンター(医科)	220,879,960円
5 CFXConnectリアルタイムPCR解析システム	1式	1 検体検査自動化システムCLINILOGV4	1式
他		2 日立自動分析装置LAbOSPECT006	2式
(3) 薬学部	19,411,358円	3 超音波診断装置EPIQ7DiamondSelectSystem	1式
1 西講義実習棟講義室映像・音響操作パネル機器等	1式	4 iBIS受精卵観察システム	1式
2 オールインワン蛍光顕微鏡ヘッド	1式	5 総合血液学検査装置アドヴィア2120i	2式
他		6 尿一般搬送システム(AI)	1式
(4) 看護学部	3,934,245円	7 ハンフリーフィールドアナライザーHFAIII	1式
1 装着型摘便シミュレーター	3式	8 睡眠評価装置エンブラNDx	1式
2 講義室用ワイヤレスマイク追加	1式	9 免疫発光測定装置LUMIPULSEL2400	1式
他		10 ウェーブフロントアナライザー	1式
(5) 教養教育センター	5,051,564円	11 経皮血液ガスモニタ TCM5 Basic	1式
1 実習システム(小動物筋生理学)	1式	他	
他		(9) 附属病院(歯科)	297,000円
(6) 附属病院(医科)	387,168,002円	1 歯科口腔内撮影デジタルカメラシステム	1式
1 内視鏡手術システムVPP	1式	(10) 附属内丸メディカルセンター(歯科)	6,762,030円
2 シリンジポンプ	1式	1 ベッドサイドモニタ	2式
3 キャピオックス遠心ポンプコントローラー	1式	2 歯科用吸引装置フリーアーム・アルテオS	3式
4 汎用人工呼吸器サーボベンチレータシステム	1式	他	
5 汎用超音波画像診断装置VolusonS10Exper	1式	(11) 医療専門学校	1,028,280円
6 体外循環用血液学的パラメータモニタ	1式	1 ノートパソコン	5式
7 汎用超音波画像診断装置Venue	2式	(12) 法人	25,690,713円
8 汎用超音波画像診断装置VolusonSWIFT	2式	1 ワークフローシステム用サーバ	1式
9 汎用超音波画像診断装置VenueGoR3	1式	他	

総額 989,880,093円の機器備品等を取得しました。

13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

(単位:円)

(1) 私立大学経常費補助金	1,596,480,000
1 私立大学等経常費補助金(日本私立学校振興・共済事業団)	1,596,480,000
(2) その他の国庫補助金	631,750,000
1 医療研究開発推進事業費補助金(日本医療研究開発機構)	360,670,000
2 企業主導型保育事業費補助金(内閣府)	126,130,000
3 高等教育の修学支援制度授業料等減免(日本私立学校振興・共済事業団)	45,230,000
4 大学改革推進等補助金(医療人材養成事業)(文部科学省)	45,000,000
5 両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース)(厚生労働省)	17,340,000
6 臨床研修費等補助金(医師)(厚生労働省)	16,120,000
7 臨床研修費等補助金(歯科医師)(厚生労働省)	14,460,000
8 医療施設運営費等補助金(看護師の特定行為に係る研修機関の養力向上支援事業)(厚生労働省)	6,600,000
9 認定看護師の特定行為研修受講推進事業(日本看護協会)	200,000
(3) 地方公共団体補助金	1,839,160,000
1 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業(I重点医療機関体制整備事業)(岩手県)	386,760,000
2 岩手県ドクターヘリ運航事業補助金(岩手県)	273,140,000
3 高度救命救急センター運営費補助金(岩手県)	256,190,000
4 医学部地域枠に係る教育研究費(岩手県)	225,000,000
5 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業(Ⅲ空床確保事業)(岩手県)	218,180,000
6 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助金(重点医療機関体制整備事業)(岩手県)	152,290,000
7 周産期母子医療センター運営事業費補助金(岩手県)	72,650,000
8 医療局医学教育研究助成金(岩手県)	60,000,000
9 看護職員等処遇改善事業補助金(岩手県)	32,130,000
10 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(矢巾)(岩手県)	27,150,000
11 地域医療研究費補助金(岩手県)	20,000,000
12 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(岩手県)	18,590,000
13 地域自殺対策強化事業費補助金(岩手県)	11,000,000
14 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(内丸)(岩手県)	7,920,000
15 新型コロナウイルスワクチン接種時間外等派遣事業費補助金(岩手県)	7,760,000
16 災害医療人材育成緊急強化事業費補助金(岩手県)	5,000,000
17 私立専修学校専門課程授業料等減免補助金(岩手県)	4,420,000
18 院内保育所運営事業費補助金(岩手県)	3,870,000
19 私立専修学校運営費補助金(岩手県)	2,790,000
20 認定看護師育成支援事業費補助金(岩手県)	2,050,000
21 私立学校被災児童生徒等就学支援事業補助金(岩手県)	2,000,000
22 新人看護職員研修事業費補助金(岩手県)	1,890,000
23 産科医等確保支援事業補助金(岩手県)	1,690,000
24 女性医師就労環境改善事業補助金(岩手県)	1,640,000
25 周産期電子カルテ運用事業費補助金(岩手県)	1,390,000
26 認定看護師養成研修事業費補助金(岩手県)	1,080,000
27 新生児医療担当医師確保支援事業費補助金(岩手県)	890,000
28 防災訓練等参加支援事業費補助金(岩手県)	850,000
29 岩手県の集団接種会場への薬剤師派遣に係る協力金(岩手県)	750,000
30 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金(矢巾)(岩手県)	600,000
31 岩手県保育対策総合支援事業費補助金(新型コロナウイルス感染症対策支援事業)(岩手県)	500,000
32 結核健康診断費補助金(岩手県)	210,000
33 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金(内丸)(岩手県)	200,000
34 新型コロナウイルス感染症医療従事者宿泊施設確保事業費補助金(岩手県)	50,000
35 病院群輪番制病院運営費補助金(盛岡市)	6,250,000

I 法人の概要

36	公的病院等運営事業補助金(小児医療事業)(盛岡市)	6,190,000
37	公的病院等運営事業補助金(救急医療事業)(盛岡市)	3,630,000
38	盛岡市医療機関物価高騰対策緊急支援金(盛岡市)	1,050,000
39	盛岡市保育所等新型コロナウイルス感染症対策継続支援事業費補助金(盛岡市)	390,000
40	盛岡市私立保育所等副食費物価高騰対策支援金(盛岡市)	20,000
41	矢巾町福祉施設等物価高騰対策緊急支援金(矢巾町)	20,000,000
42	紫波町大規模入院可能医療機関エネルギー価格高騰対策支援金(紫波町)	1,000,000
(4)	受託事業収入(公的機関受託収入)	533,740,000
1	岩手県こころのケアセンター等設置運營業務委託費(岩手県)	344,670,000
2	いわてこどもケアセンター設置運営等事業委託費(岩手県)	53,610,000
3	精神科救急医療施設常時対応施設事業委託費(岩手県)	16,570,000
4	こどもの心の診療ネットワーク事業委託費(岩手県)	15,490,000
5	岩手県難病医療連絡協議会設置委託事業費(岩手県)	12,760,000
6	精神科救急医療施設(身体合併症対応施設事業)委託費(岩手県)	12,640,000
7	岩手県周産期救急搬送コーディネータ事業委託費(岩手県)	10,790,000
8	地域医療支援センター運営事業(厚生労働省)(岩手県)	10,220,000
9	岩手県肝炎相談センター運営事業委託費(岩手県)	8,090,000
10	岩手県心身障がい者(児)歯科診療事業委託費(岩手県)	7,410,000
11	岩手県基幹型認知症患者医療センター運営事業委託費(岩手県)	7,210,000
12	新型コロナウイルス感染症予防接種に係る岩手県専門電話相談業務委託費(岩手県)	6,280,000
13	不妊専門相談センター事業委託費(岩手県)	5,940,000
14	小児医療遠隔支援業務委託費(岩手県)	4,530,000
15	岩手県災害時実践力強化事業委託料(岩手県)	4,130,000
16	若年性認知症支援コーディネータ事業委託費(岩手県)	3,510,000
17	肝炎医療コーディネーター養成研修事業委託費(岩手県)	2,150,000
18	岩手県予防接種センター機能推進事業委託費(岩手県)	2,000,000
19	コロナウイルス予防接種専門医療体制確保業務委託事業(岩手県)	2,000,000
20	岩手県在宅難病患者一時入院事業委託費(岩手県)	910,000
21	新型コロナウイルス感染症重症患者対応研修事業委託費(岩手県)	820,000
22	災害時実践力強化事業委託費(災害医療コーディネーター養成研修)(岩手県)	790,000
23	岩手県医療局委託事業費(岩手県)	500,000
24	エイズ診療に係る医療・介護従事者等研修事業委託費(岩手県)	360,000
25	エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費(岩手県)	230,000
26	一時保護を要する児童の医療機関への一時保護委託費(岩手県)	90,000
27	先天性代謝異常等検査事業相談業務委託費(岩手県)	40,000
(5)	施設設備補助金	248,450,000
1	私立大学等経常費補助金等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)(文部科学省)	4,400,000
2	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業費補助金(岩手県)	90,130,000
3	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業費補助金(矢巾)(岩手県)	57,570,000
4	高度救命救急センター設備整備費補助金(岩手県)	50,000,000
5	小児医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	13,820,000
6	周産期医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	13,650,000
7	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業費補助金(内丸)(岩手県)	5,790,000
8	実践的手術手技向上研修実施機関設備整備費補助金(岩手県)	5,210,000
9	救命救急センター施設設備整備事業補助金(NBC災害用資機材購入補助)(岩手県)	3,530,000
10	ドクターヘリ設備整備費補助金(岩手県)	3,530,000
11	帰国者・接触者外来等設備整備事業費補助金(岩手県)	820,000

II 人事の概要

1. 主な役職人事

新任

医学部副学部長	田島克巳	(令和4年4月1日付)
医学部副学部長	佐々木章	(令和4年4月1日付)
学生副部長	相澤文恵	(令和4年4月1日付)
図書館長	古山和道	(令和4年4月1日付)
図書館副館長	原田英光	(令和4年4月1日付)
キャリア支援センター長	工藤賢三	(令和4年4月1日付)
いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	旭浩一	(令和4年4月1日付)

再任

副学長(岩手県こころのケアセンター・発達医学担当)	酒井明夫	(令和4年4月1日付)
副学長(歯学部改革担当)、歯学部長、岩手医科大学医療専門学校長	三浦廣行	(令和4年4月1日付)
医学部長、いわて東北メディカル・メガバンク機構長	佐々木真理	(令和4年4月1日付)
学生副部長	西谷直之	(令和4年4月1日付)
医歯薬総合研究所長	平英一	(令和4年4月1日付)
総合情報センター長	田中良一	(令和4年4月1日付)
総合情報センター副センター長、健康管理センター長、いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	石垣泰	(令和4年4月1日付)
リエゾンセンター長	吉岡邦浩	(令和4年4月1日付)
いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	福島明宗	(令和4年4月1日付)
いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長	清水厚志	(令和4年4月1日付)
附属病院長	小笠原邦昭	(令和4年4月1日付)
内丸メディカルセンター長	下沖収	(令和4年4月1日付)

2. 主な教職員人事

昇任・任用

衛生学公衆衛生学講座	教授	丹野高三	(令和4年4月1日付)
医学部呼吸器外科学講座	特任教授	出口博之	(令和4年4月1日付)
微生物学講座分子微生物学分野	教授	石河太知	(令和4年5月1日付)
医学部神経精神科学講座	教授	八木淳子	(令和4年8月1日付)
薬学部薬科学講座構造生物薬学分野	教授	阪本泰光	(令和4年11月1日付)
薬学部医療薬科学講座薬物代謝動態学分野	教授	幅野涉	(令和4年11月1日付)
医学部内科学講座消化器内科分野	特任教授	黒田英克	(令和5年1月1日付)
医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	特任教授	岡田健太	(令和5年1月1日付)
歯学部補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	特任教授	田邊憲昌	(令和5年3月1日付)

退職

歯学部補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	特任教授	鬼原英道	(令和4年9月30日付)
医学部内科学講座呼吸器内科分野	教授	前門戸任	(令和5年3月31日付)
医学部病理診断学講座	教授	菅井有	(令和5年3月31日付)
歯学部補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	教授	近藤尚知	(令和5年3月31日付)
薬学部医療薬科学講座創剤学分野	教授	佐塚泰之	(令和5年3月31日付)
薬学部医療薬科学講座薬物代謝動態学分野	教授	小澤正吾	(令和5年3月31日付)
看護学部共通基盤看護学講座	教授	三浦幸枝	(令和5年3月31日付)
医学部産婦人科学講座	特任教授	小山理恵	(令和5年3月31日付)

3. 教職員総数

教職員総数は、年度当初3,027名、年度間の採用者数は253名(内4月1日付採用者212名)、退職者数は286名でした。

Ⅲ 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数

学 校	学部・学科等	入学定員	入学者※1	卒業（修了）者	学生数※2
岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	12名	8名	112名
	大学院医学研究科 修士課程	10名	3名	9名	12名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	12名	13名	43名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	1名	1名	7名
	大学院薬学研究科 修士課程	3名	0名	0名	0名
	医学部	126名 ※3	123名	120名	779名
	歯学部	73名	32名	24名	281名
	薬学部	80名	32名	85名 ※5	361名
看護学部	90名 ※4	90名	89名	363名	
医療専門学校	歯科衛生学科	40名	36名	33名	107名

※1 第1学年入学者

※4 第3学年への学士編入学定員（5名）は含めない。

※2 令和4年5月1日現在

※5 秋季卒業生（22名）を含む。

※3 第3学年への学士編入学定員（4名）は含めない。

2. 学位授与者数

大学院研究科	博士課程修了者 (甲)	論文提出者 (乙)	修士課程修了者
医学研究科	32名	2名	9名
歯学研究科	13名	5名	
薬学研究科	1名	0名	0名

3. 文部科学省科学研究費助成事業

230件

262,993,957円

(1) 科学研究費補助金（代表）

①基盤研究（B）	4件	13,780,000円
佐々木 真理（医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門）		2,080,000円
中西 真弓（薬学部生物薬学講座機能生化学分野）		4,290,000円
祖父江 憲治（岩手医科大学 学長）		3,380,000円
望 月 圭（生理学講座統合生理学分野（医））		4,030,000円

(2) 科学研究費補助金（学外分担）

①学術変革領域研究（学術研究支援基盤形成）	1件	2,080,000円
清水 厚志（医歯薬総合研究所 生体情報解析部門）		2,080,000円
②基盤研究（S）	1件	1,300,000円
片岡 竜貴（病理学講座機能病態学分野（医））		1,300,000円
③基盤研究（A）	3件	4,784,000円
中 隲 克己（生理学講座統合生理学分野（医））		3,510,000円
山下 典生（医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門）		390,000円
志賀 清人（医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）		884,000円
④基盤研究（B）	15件	13,982,877円
八木 淳子（医学部 神経精神科学講座）		130,000円
齊藤 元（医学部 呼吸器外科学講座）		130,000円
黒瀬 雅之（生理学講座病態生理学分野（歯））		130,000円
黒瀬 雅之（生理学講座病態生理学分野（歯））		130,000円
清水 厚志（医歯薬総合研究所 生体情報解析部門）		39,000円
馬場 長（医学部 産婦人科学講座）		390,000円

江尻正一	(教養教育センター 情報科学科数学分野)	520,000円
黒瀬雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	260,000円
池田怜吉	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	163,877円
丹野高三	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	130,000円
清水厚志	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	130,000円
清水厚志	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	130,000円
大桃秀樹	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	9,490,000円
小林琢也	(歯学部 補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	130,000円
黒瀬雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	2,080,000円

(3) 学術研究助成基金助成金 (代表)

①基盤研究 (C)		129件	153,292,080円
有賀久哲	(医学部 放射線腫瘍学科)		260,000円
齊藤元	(医学部 呼吸器外科学講座)		780,000円
入江太朗	(病理学講座病態解析学分野 (歯))		520,000円
小守林靖一	(医学部 岩手県高度救命救急センター)		1,300,000円
熊地美枝	(看護学部 地域包括ケア講座)		1,040,000円
鈴木享	(生理学講座統合生理学分野 (医))		650,000円
柳谷千枝子	(教養教育センター 外国語学科英語分野)		650,000円
村嶋亜紀	(解剖学講座人体発生学分野 (医))		910,000円
前沢千早	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)		1,040,000円
菅井有	(医学部 病理診断学講座)		1,560,000円
高橋義彦	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		520,000円
大塚耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)		650,000円
別府高明	(医学部 脳神経外科学講座)		1,430,000円
石田大	(医学部 内科学講座循環器内科分野)		1,300,000円
齋木宏文	(医学部 小児科学講座)		1,040,000円
村木靖	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		1,430,000円
岩谷岳	(医学部 臨床腫瘍学講座)		1,300,000円
駒切洋	(生理学講座統合生理学分野 (医))		1,040,000円
杉山育美	(薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)		650,000円
赤松洋祐	(医学部 脳神経外科学講座)		1,300,000円
松田豪	(医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		1,040,000円
加藤陽一郎	(医学部 岩手県高度救命救急センター)		910,000円
福島明宗	(医学部 臨床遺伝学科)		260,000円
石崎明	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		1,300,000円
衣斐美歩	(病理学講座病態解析学分野 (歯))		1,040,000円
石河太知	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))		910,000円
帖佐直幸	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))		1,040,000円
武本真治	(医療工学講座 (歯))		1,170,000円
島崎伸子	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		325,000円
佐藤泰生	(病理学講座病態解析学分野 (歯))		390,000円
間山寿代	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)		1,040,000円
大橋祐生	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)		1,300,000円
須藤洋一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		1,170,000円
藤田友嗣	(医学部 救急・災害医学講座)		910,000円
塚本恭正	(看護学部 看護専門基礎講座)		780,000円
岩渕光子	(看護学部 地域包括ケア講座)		195,000円
遠藤龍人	(看護学部 看護専門基礎講座)		910,000円
下沖収	(医学部 総合診療医学講座)		1,430,000円
田島吾郎	(医学部 整形外科学講座)		650,000円
佐々木章	(医学部 外科学講座)		1,365,000円
諏訪部章	(医学部 臨床検査医学講座)		520,000円
吉田潤	(教養教育センター 化学科)		1,560,000円
山本佳世乃	(医学部 臨床遺伝学科)		260,000円
長谷川大	(教養教育センター 情報科学科数学分野)		1,170,000円
奥村健一	(教養教育センター 物理学科)		1,040,000円
錦織健児	(薬学部 生物薬学講座生体防御学分野)		910,000円
阪本泰光	(薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)		1,430,000円
關谷瑞樹	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		1,430,000円

Ⅲ 学事の概要

大橋	一晶	(薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)	1,040,000円
工藤	賢三	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	1,300,000円
木村	英二	(解剖学講座人体発生学分野 (医))	1,430,000円
古山	和道	(生化学講座分子医化学分野 (医))	1,170,000円
安平	進士	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	1,170,000円
柴崎	晶彦	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	780,000円
上杉	憲幸	(医学部 病理診断学講座)	1,950,000円
片岡	竜貴	(病理学講座機能病態学分野 (医))	1,430,000円
西谷	直之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)	1,300,000円
西塚	哲	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,690,000円
吉岡	邦浩	(医学部 放射線医学講座)	390,000円
肥田	頼彦	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	1,430,000円
アリフ・ウルハサン		(薬理学講座情報伝達医学分野 (医))	1,495,000円
天野	博雄	(医学部 皮膚科学講座)	1,300,000円
金子	桐子	(生化学講座分子医化学分野 (医))	1,430,000円
吉野	直人	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,300,000円
長谷川	豊	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	1,690,000円
小笠原	邦昭	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
小林	正和	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
幸治	孝裕	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
小原	航	(医学部 泌尿器科学講座)	780,000円
高田	亮	(医学部 泌尿器科学講座)	1,560,000円
馬場	長	(医学部 産婦人科学講座)	780,000円
菅野	智子	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	780,000円
黒坂	大次郎	(医学部 眼科学講座)	1,950,000円
大津	圭史	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	1,040,000円
今一	裕	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,820,000円
川井	忠	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,170,000円
近藤	尚知	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,300,000円
田邊	昌昌	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,300,000円
宮本	郁也	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,430,000円
齋藤	勇起	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,300,000円
黒瀬	雅之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	780,000円
森川	和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	650,000円
熊谷	美保	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	910,000円
丹野	高三	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	845,000円
三枝	聖	(教養教育センター 生物学科)	1,040,000円
小野	保	(教養教育センター 情報科学科医用工学分野)	260,000円
佐藤	奈美枝	(看護学部 共通基盤看護学講座)	910,000円
西里	真澄	(看護学部 成育看護学講座)	910,000円
大橋	綾子	(薬学部 生物薬学講座生体防御学分野)	1,690,000円
高橋	寛	(薬学部 臨床薬学講座地域医療薬学分野)	455,000円
高梨	信之	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	2,080,000円
白石	博久	(薬学部 生物薬学講座生体防御学分野)	1,560,000円
松政	正俊	(教養教育センター 生物学科)	1,430,000円
幅野	涉	(薬学部 医療薬科学講座薬物代謝動態学分野)	1,300,000円
齋野	朝幸	(解剖学講座細胞生物学分野 (医))	1,820,000円
横山	拓矢	(解剖学講座細胞生物学分野 (医))	1,950,000円
鈴木	喜郎	(生理学講座統合生理学分野 (医))	1,560,000円
杉本	亮	(医学部 病理診断学講座)	1,690,000円
世良田	聡	(医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)	1,300,000円
高橋	智弘	(医学部 総合診療医学講座)	1,430,000円
山口	哲	(医学部 放射線医学講座)	2,730,000円
折居	誠	(医学部 放射線医学講座)	1,560,000円
前門戸	任	(医学部 内科学講座呼吸器内科分野)	780,000円
古和田	周吾	(医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	1,300,000円
石垣	泰	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	1,690,000円
出口	博之	(医学部 呼吸器外科学講座)	2,470,000円
八重樫	瑞典	(医学部 外科学講座)	1,690,000円

迫田直也	(医学部 心臓血管外科学講座)	260,000円
久保慶高	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
西川泰正	(医学部 脳神経外科学講座)	1,690,000円
露久保敬嗣	(医学部 泌尿器科学講座)	1,950,000円
加藤廉平	(医学部 泌尿器科学講座)	780,000円
利部正裕	(医学部 産婦人科学講座)	910,000円
片桐克則	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	1,040,000円
平海晴一	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	910,000円
下山佑	(微生物学講座分子微生物学分野(歯))	542,080円
小林琢也	(歯学部 補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	2,990,000円
鈴木舟	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,820,000円
山田浩之	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	520,000円
岸光男	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	2,080,000円
高宮正隆	(法科学講座法医学分野(医))	2,600,000円
伊藤奈央	(看護学部 共通基盤看護学講座)	520,000円
菊池佑弥	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,040,000円
舘向真紀	(看護学部 地域包括ケア講座)	260,000円
橋口大輔	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	1,560,000円
旭浩一	(医学部 内科学講座腎・高血圧内科学分野)	1,560,000円
梅邑晃	(医学部 外科学講座)	1,430,000円
牛島弘雅	(薬学部 薬科学講座分析化学分野)	1,170,000円
齊藤桂子	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	1,560,000円
②若手研究	50件	63,960,000円
高橋宏彰	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	520,000円
太田麻衣子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)	1,170,000円
小松祐子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,170,000円
横田聖司	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	910,000円
藤澤美穂	(教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)	520,000円
美辺詩織	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	1,300,000円
開勇人	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,040,000円
及川公樹	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
鈴木彰子	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	1,300,000円
二宮亮	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	780,000円
鍵谷忠慶	(解剖学講座機能形態学分野(歯))	1,040,000円
鈴木悠地	(医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	1,040,000円
前川滋克	(医学部 泌尿器科学講座)	780,000円
熊上深香	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,560,000円
滝沢尚希	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	1,300,000円
横田潤	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	780,000円
菅原志帆	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	780,000円
高橋宗康	(医学教育学講座医学教育学分野(医))	910,000円
小田切崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	780,000円
小野寺直人	(医学部 臨床検査医学講座)	520,000円
藤澤純子	(看護学部 地域包括ケア講座)	650,000円
伊藤由香	(医学部 小児科学講座)	130,000円
赤坂博	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	1,820,000円
六本木沙織	(法科学講座法医学分野(医))	1,430,000円
二瓶哲	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	130,000円
永塚真	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	130,000円
二階春香	(医学部 外科学講座)	1,820,000円
瀬川昂史	(医学部 放射線腫瘍学科)	780,000円
佐々木登希夫	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	1,820,000円
荒川伸之	(医学部 皮膚科学講座)	1,950,000円
三善健矢	(医学部 脳神経外科学講座)	2,210,000円
佐藤慎平	(医学部 脳神経外科学講座)	2,210,000円
佐藤千絵	(医学部 産婦人科学講座)	1,820,000円
池崎晶二郎	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,040,000円
野尻俊樹	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,430,000円
島山航	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	910,000円

Ⅲ 学事の概要

平野大輔	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,170,000円
菊池恵美子	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,820,000円
氏家隼人	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,040,000円
松本識野	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
野里同	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,560,000円
本多笑奈	(医学部 神経精神科学講座)	1,300,000円
攝田典悟	(医学部 脳神経外科学講座)	1,820,000円
佐藤琢郎	(医学部 内科学講座消化器内科分野)	2,990,000円
那須崇人	(医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	1,430,000円
南波孝昌	(医学部 脳神経外科学講座)	2,210,000円
五十嵐大樹	(医学部 泌尿器科学講座)	1,430,000円
金城伸祐	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	2,860,000円
中里茉那美	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	1,690,000円
下田陽樹	(衛生学公衆衛生学講座(医))	1,430,000円

③研究活動スタート支援 **3件** **4,290,000円**

木村将大	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	1,560,000円
米澤穂波	(薬学部 医療薬科学講座衛生化学分野)	1,300,000円
稲葉陽	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	1,430,000円

④独立基盤形成支援(試行) **1件** **1,950,000円**

世良田 聡	(医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)	1,950,000円
-------	---------------------	------------

(4) 学術研究助成基金助成金(学外分担)

①基盤研究(C) **22件** **2,925,000円**

松政正俊	(教養教育センター 生物学科)	65,000円
アリフ・ウルハサン	(薬理学講座情報伝達医学分野(医))	65,000円
西塚 哲	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	260,000円
岩谷 岳	(医学部 臨床腫瘍学講座)	260,000円
三又 義訓	(医学部 整形外科学講座)	65,000円
仲 哲治	(医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	130,000円
世良田 聡	(医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)	130,000円
森川和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	104,000円
遊田由希子	(看護学部 成育看護学講座)	26,000円
刑部光正	(医学部 病理診断学講座)	130,000円
佐々木真理	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I診断・病態研究部門)	195,000円
馬場 長	(医学部 産婦人科学講座)	65,000円
入江太朗	(病理学講座病態解析学分野(歯))	130,000円
石崎 明	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	130,000円
森川和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	65,000円
佐々木亮平	(教養教育センター 人間科学科体育学分野)	260,000円
高橋 都	(医学部)	65,000円
小卷翔平	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	130,000円
池田怜吉	(医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座)	130,000円
原田英光	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	130,000円
島崎伸子	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	130,000円
琵琶坂 仁	(法科学講座法医学分野(医))	260,000円

②国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) **1件** **650,000円**

小田切 崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	650,000円
-------	-----------------------	----------

4. 厚生労働科学研究費補助金 **20件** **28,641,500円**

(1) 行政推進調査事業費補助金(代表)

①厚生労働科学特別研究事業
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座) **6,552,000円**

(2) 行政推進調査事業費補助金(分担)

①厚生労働科学特別研究事業
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座) **200,000円**

②腎疾患政策研究事業	旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	400,000円
③肝炎等克服政策研究事業	宮 坂 昭 生 (医学部 内科学講座消化器内科分野)	300,000円
(3) 科学研究費補助金 (代表)		
①長寿科学政策研究事業	西 村 行 秀 (医学部 リハビリテーション医学講座)	3,300,000円
(4) 科学研究費補助金 (分担)		
①循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業		
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座)	3,000,000円	
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座)	1,000,000円	
丹 野 高 三 (衛生学公衆衛生学講座 (医))	700,000円	
②難治性疾患等政策研究事業		
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	700,000円	
古 山 和 道 (生化学講座分子医化学分野 (医))	500,000円	
石 垣 泰 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	200,000円	
松 本 主 之 (医学部 内科学講座消化器内科分野)	159,500円	
旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	300,000円	
小 林 有美子 (医学部 臨床遺伝学科)	500,000円	
③腎疾患政策研究事業	旭 浩 一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)	700,000円
④エイズ対策政策研究事業	吉 野 直 人 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	8,280,000円
⑤肝炎等克服政策研究事業	宮 坂 昭 生 (内科学講座消化器内科分野)	1,000,000円
⑥長寿科学政策研究事業	高 橋 寛 (薬学部 臨床薬学講座地域医療薬学分野)	250,000円
⑦化学物質リスク研究事業	村 嶋 亜 紀 (解剖学講座人体発生学分野 (医))	250,000円
(5) 労災疾病臨床研究事業費補助金 (労災疾病臨床研究事業) (分担)	黒 坂 大次郎 (医学部 眼科学講座)	350,000円

5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 18件 135,961,445円

(1) 委託事業 (代表)		
①革新的がん医療実用化研究事業	仲 哲 治 (医学部 内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	104,000,000円
(2) 委託事業 (分担)		
①肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業)	黒 田 英 克 (医学部 内科学講座消化器内科分野)	1,040,000円
②臨床研究・治験推進研究事業		
伊 藤 薫 樹 (医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)	535,926円	
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	400,000円	
③認知症研究開発事業	前 田 哲 也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	13,000,000円
④次世代がん医療加速化研究事業	前 門 戸 任 (医学部 内科学講座呼吸器内科分野)	1,300,000円
⑤革新的がん医療実用化研究事業		
秋 山 有 史 (医学部 医療安全学講座)	130,000円	
別 府 高 明 (医学部 脳神経外科学講座)	260,000円	
清 水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)	1,300,000円	
⑥難治性疾患実用化研究事業		
小笠原 邦 昭 (医学部 脳神経外科学講座)	260,000円	
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	3,770,000円	

Ⅲ 学事の概要

⑦障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野） 福本 健太郎（医学部 神経精神科学講座）	390,000円
⑧障害者対策総合研究開発事業（その他） 小林 有美子（医学部 臨床遺伝学科）	520,000円
⑨戦略的国際脳科学研究推進プログラム 佐々木 真理（いわて東北メディカル・メガバンク機構）	5,200,000円
⑩成育疾患克服等総合研究事業 清水 厚志（医歯薬総合研究所 生体情報解析部門）	780,000円
⑪医療研究開発革新基盤創成事業 高橋 史朗（教養教育センター 情報科学科医用工学分野）	280,519円
⑫新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 高橋 史朗（教養教育センター 情報科学科医用工学分野）	195,000円
⑬橋渡し研究プログラム 原田 英光（解剖学講座発生生物・再生医学分野（歯））	2,600,000円

6. その他公的機関受託研究等 12件 22,470,687円

(1) 独立行政法人日本学術振興会（二国間交流事業（中国との共同研究（NSFC））（代表） 長谷川 豊（医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野）	1,235,000円
(2) 国立がん研究センター（分担）	
①多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究 丹野 高三（衛生学公衆衛生学講座（医））	1,500,000円
②ゲノム情報を用いた一次・二次予防のための技術開発と連携研究基盤の構築と運用 清水 厚志（医歯薬総合研究所 生体情報解析部門）	1,000,000円
(3) 岩手県（分担、代表）	
①いわて戦略的研究開発推進事業（応用研究ステージ）（分担） 西塚 哲（医歯薬総合研究所 医療開発研究部門）	1,019,972円
②いわて戦略的研究開発推進事業（可能性試験ステージ）（代表） 寺島 潤（薬学部 医療薬科学講座薬物代謝動態学分野）	974,593円
(4) 農林水産技術会議（分担、みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業の内農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）） 松政 正俊（教養教育センター 生物学科）	1,420,000円
(5) 厚生労働省（分担、慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業） 大畑 光彦（医学部 麻酔学講座）	1,191,000円
(6) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター（分担、国際医療研究開発費） 柿坂 啓介（医学部 内科学講座消化器内科分野）	500,000円
(7) 青森県（代表、青森県量子科学センター委託研究事業） 小林 正和（医学部 脳神経外科学講座）	2,000,024円
(8) 公益財団法人JKA（代表、自転車等機械振興事業） 黒瀬 雅之（生理学講座病態生理学分野（歯））	5,000,000円
(9) 協会けんぽ（代表、全国健康保険協会外部有識者を活用した委託研究事業） 丹野 高三（衛生学公衆衛生学講座（医））	5,653,098円
(10) さんりく基金（代表、さんりく基金調査研究事業） 熊谷 章子（法科学講座法歯学・災害口腔医学分野（歯））	977,000円

7. 解剖体慰霊祭および解剖体数

令和4年6月25日（土）に矢巾キャンパス大堀記念講堂で解剖体慰霊祭を行いました。

- （1）慰霊祭の対象者数：病理解剖17霊、正常解剖59霊、実践的手術手技向上研修8霊
- （2）本年度の解剖体数：病理解剖13体、正常解剖59体、実践的手術手技向上研修12体

8. 白寿会員数

- （1）会員数（生存者）
令和4年度入会者53人（総会員数1,353人）
- （2）献体者数
令和4年度献体者65人（総献体者数1,941人）

9. 海外出張者数（延べ人数）

医学部	16人
歯学部	3人
薬学部	0人
看護学部	0人
教養教育センター	0人

10. 国家試験成績

学校	学部・学科等	国家試験	受験者 (新卒) [既卒]	合格者 (新卒) [既卒]	合格率 (新卒) [既卒]	全国平均 (新卒) [既卒]	
岩手医科大学	医学部	第117回医師国家試験 実施：令和5年2月4日～5日 発表：令和5年3月16日	135名 (120名) [15名]	116名 (109名) [7名]	85.9% (90.8%) [46.7%]	91.6% (94.9%) [55.2%]	
		歯学部	第116回歯科医師国家試験 実施：令和5年1月28日～29日 発表：令和5年3月16日	52名 (24名) [28名]	31名 (20名) [11名]	59.6% (83.3%) (39.3%)	63.5% (77.3%) [42.2%]
			薬学部	第108回薬剤師国家試験 実施：令和5年2月18日～19日 発表：令和5年3月22日	164名 (63名) [101名]	92名 (54名) [38名]	56.1% (85.7%) [37.6%]
	看護学部	第112回看護師国家試験 実施：令和5年2月12日 発表：令和5年3月24日	86名 (85名) [1名]	86名 (85名) [1名]	100.0% (100.0%) [100.0%]	90.8% (95.5%) [36.5%]	
		第109回保健師国家試験 実施：令和5年2月10日 発表：令和5年3月24日	20名 (20名) [-]	20名 (20名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	93.7% (96.8%) [56.6%]	
		第106回助産師国家試験 実施：令和5年2月9日 発表：令和5年3月24日	10名 (10名) [-]	9名 (9名) [-]	90.0% (90.0%) [-]	95.6% (95.9%) [50.0%]	
	岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生学科	第32回歯科衛生士国家試験 実施：令和5年3月5日 発表：令和5年3月24日	33名 (33名) [-]	33名 (33名) [-]	100.0% (100.0%) [-]	93.0% [-] [-]

IV 附属病院の概要

1. 患者数

区 分			患者数 (人)		一日平均 (人)		
			令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	
入院患者	附属病院	附属病院 (医科)	280,191	275,533	768	755	
		高度救命救急センター	18,700	18,705	51	51	
		歯科	3,127	2,835	9	8	
		小 計	302,018	297,073	828	814	
	附属内丸メディカルセンター (医科)	7,212	7,430	20	20		
合 計			309,230	304,503	848	834	
外来患者	附属病院	附属病院 (医科)	新来	8,335	8,080	31	30
			再来	155,587	163,357	585	610
			計	163,922	171,437	616	640
		高度救命救急センター	2,458	2,288	9	9	
		歯科	新来	2,024	2,002	8	7
			再来	9,295	8,647	35	32
	計		11,319	10,649	43	39	
	小 計			177,699	184,374	668	688
	附属内丸メディカルセンター	医科	新来	19,020	18,856	72	70
			再来	217,484	231,028	818	862
			計	236,504	249,884	890	932
		歯科医療センター	新来	5,357	5,166	20	19
			再来	87,393	83,090	329	310
			計	92,750	88,256	349	329
小 計			329,254	338,140	1,239	1,261	
合 計			506,953	522,514	1,907	1,949	

- ・ 入院患者数は在院患者数 (24時現在の患者数) に退院患者数を加算した延べ患者数である。
- ・ 外来患者数には入院者外来数は含まない。

2. 救急患者取扱件数

区 分		令和3年度	令和4年度
附属病院	附属病院 (医科)	6,725	6,596
	高度救命救急センター	4,285	3,911
	歯科	458	375
	合 計	11,468	10,882

3. 分娩件数

令和3年度	令和4年度
293	251

4. アイバンク登録者数

登録者 88人(10,980人)
 角膜提供者 11人(1,140人)
 被角膜移植件数 3眼(1,417眼) () 内は総数

5. 手術件数および死亡者数

区 分		手術件数		死亡者数	
		令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
附属病院	附属病院 (医科)	8,219	7,813	478	520
	高度救命救急センター	519	442	56	81
	歯科	340	355	0	0
	小 計	9,078	8,610	534	601
附属内丸メディカルセンター	医科	1,442	1,610	0	0
	歯科医療センター			0	0
	小 計	1,442	1,610	0	0
合 計		10,520	10,220	534	601

V 財務の概要

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う診療・手術等の制限や、世界情勢の急激な変化によるエネルギー価格の高騰や物価上昇等が、本学の財務状況に大きな影響を及ぼしました。このような厳しい状況下において、本学は、教育・研究・医療の質向上を目指し、各事業を推進しました。

また、補助金や研究費等の外部資金を積極的に獲得したほか、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの病院機能を最大限に活かし、経営基盤の更なる強化に努めました。

事業活動収入合計は、前年度より約16億円減少の547億8,749万円を計上しました。主な減少要因は、学生生徒等納付金が前年度より約3億円減少の72億1,553万円を計上したことが挙げられます。加えて、一般寄付金が前年度より約3億円減少の4億5,155万円、施設設備補助金が約6億円減少の2億4,845万円を計上しました。

事業活動支出合計は、前年度より約8億円増加の586億2,119万円を計上しました。主な増加要因は、医薬品費が前年度より約8億円増加の98億3,680万円、光熱水費が約4億円増加の18億4,508万円を計上したことが挙げられます。

以上により、当期決算における、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約24億円減少の△38億3,370万円となり、矢巾附属病院関連等の基本金組入額△2億20万円を計上したことにより、当年度収支差額は△40億3,390万円となりました。

1. 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額547億8,749万円は、前年度比16億4,664万円(2.9%)減少、予算比では8,099万円(0.2%)下回りました。

区分別では、教育活動収入合計543億6,870万円は前年度比8億1,087万円(1.5%)減少、教育活動外収入合計699万円は前年度比335万円(92.1%)増加、特別収入合計4億1,180万円は前年度比8億3,911万円(67.1%)減少しました。

①学生生徒等納付金72億1,553万円は、前年度比3億1,460万円(4.2%)減少しました。

主な減少要因は、学生数の減少によるものです。

各学部等の内訳は次のとおりです。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部	医療専門学校	計
授業料	19億9,888万円	7億2,835万円	4億5,738万円	3億6,300万円	5,337万円	36億98万円
入学金	4億650万円	2,160万円	1,487万円	3,050万円	900万円	4億8,247万円
実験実習費	3億8,971万円	120万円	6,578万円	5,945万円	2,669万円	5億4,283万円
教育充実費	10億2,700万円	2億5,960万円	—	—	—	12億8,660万円
施設整備費	7億9,040万円	2億8,150万円	1億4,000万円	9,075万円	—	13億265万円
計	46億1,249万円	12億9,225万円	6億7,803万円	5億4,370万円	8,906万円	72億1,553万円

②医療収入 400 億 7,042 万円は、前年度比 3 億 9,759 万円（1.0%）増加しました。

附属病院（医科）と内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は、前年度比 4 億 7,552 万円（1.2%）の増加、附属病院（歯科）と内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は、前年度比 7,793 万円（6.8%）の減少となりました。

病院別の医療収入内訳は、次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
入院収入	258 億 889 万円	2 億 1,354 万円	5 億 696 万円	—	265 億 2,939 万円
外来収入	74 億 3,718 万円	6,171 万円	49 億 9,081 万円	7 億 9,340 万円	132 億 8,310 万円
その他の医療収入	1 億 9,693 万円	192 万円	5,805 万円	103 万円	2 億 5,793 万円
計	334 億 4,300 万円	2 億 7,717 万円	55 億 5,582 万円	7 億 9,443 万円	400 億 7,042 万円

③補助金合計額は 43 億 1,584 万円で、前年度比 7 億 1,485 万円（14.2%）減少しました。

区分別では、教育活動収入の経常費等補助金 40 億 6,740 万円は前年度比 1 億 2,417 万円（3.0%）減少しました。また、国庫補助金として私立大学等経常費補助金 15 億 9,648 万円、医療研究開発推進事業費補助金（いわて東北メディカル・メガバンク機構）3 億 6,067 万円等、地方公共団体補助金として新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業 3 億 8,676 万円、岩手県ドクターヘリ運航事業補助金 2 億 7,314 万円等がありました。

特別収入の施設設備補助金 2 億 4,845 万円は、前年度比 5 億 9,068 万円（70.4%）減少し、地方公共団体補助金として新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業費補助金 9,013 万円、新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業費補助金 5,757 万円等がありました。

(2) 事業活動支出

事業活動支出の合計額 586 億 2,119 万円は、前年度比 7 億 5,264 万円（1.3%）増加、予算比では 14 億 8,878 万円（2.6%）上回りました。

区分別では、教育活動支出合計 584 億 4,935 万円は前年度比 8 億 9,450 万円（1.6%）増加、特別支出合計 1 億 59 万円は前年度比 1 億 3,623 万円（57.5%）減少しました。

教育活動外支出は、7,125 万円を計上しました。

①人件費 229 億 3,598 万円は、前年度比 3,038 万円（0.1%）減少しました。

給与、賞与及び所定福利費の合計 215 億 7,214 万円は、前年度比 1 億 3,393 万円（0.6%）増加し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計 13 億 723 万円は、前年度比 1 億 6,431 万円（11.2%）減少しました。

②医療経費 185 億 459 万円は、前年度比 8 億 5 万円（4.5%）増加しました。

医薬品費は、前年度比 8 億 3,289 万円（9.3%）の増加、医療材料費は 3,708 万円（0.4%）の減少、給食材料費は 424 万円（2.0%）増加しました。

医療収入に対する医療経費割合は 46.2%となり、前年度より 1.6%増加しました。

病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
医薬品費	74億9,580万円	1,092万円	23億2,419万円	589万円	98億3,680万円
(対医療収入比)	(22.4%)	(3.9%)	(41.8%)	(0.8%)	(24.6%)
医療材料費	76億7,635万円	496万円	6億2,200万円	1億5,265万円	84億5,596万円
(対医療収入比)	(23.0%)	(1.8%)	(11.2%)	(19.2%)	(21.1%)
給食材料費	2億349万円	246万円	588万円	—	2億1,183万円
(対医療収入比)	(0.6%)	(0.9%)	(0.1%)	—	(0.5%)
計	153億7,564万円	1,834万円	29億5,207万円	1億5,854万円	185億459万円
(対医療収入比)	(46.0%)	(6.6%)	(53.1%)	(20.0%)	(46.2%)

③消耗品費 7億9,968万円は、前年度比 660万円 (0.8%) 減少しました。

④光熱水費は、重油料 3億8,157万円、ガス料 3億6,741万円、電気料 9億6,875万円、水道料 1億2,735万円の合計 18億4,508万円となり、前年度比 3億7,425万円 (25.4%) 増加しました。

⑤修繕費は、施設修繕費 1億8,141万円、機器備品修繕費 2億6,049万円、合計 4億4,190万円となり前年度比 1,791万円 (4.2%) 増加しました。

⑥業務委託費 57億3,881万円は、前年度比 1,657万円 (0.3%) 減少しました。

病院別では、附属病院 (医科) 33億9,879万円、附属病院 (歯科) 929万円、内丸メディカルセンター (医科) 9億743万円、内丸メディカルセンター (歯科) 1億3,961万円、その他 12億8,369万円です。

⑦福利費 2億6,946万円は、学生福利費 3,581万円、職員福利費 2億3,365万円であり、健康診断経費等です。

⑧減価償却額 56億551万円は、前年度より 2億1,513万円減少しました。

⑨公租公課 1億9,035万円は、消費税 1億2,450万円、法人税・事業税 2,173万円、固定資産税・都市計画税 3,948万円等です。

⑩借入金利息により 7,125万円を計上しました。

⑪資産処分差額 1億59万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2. 資本収支

(1) 資産の部

①施設関係支出 4,870万円は、内丸キャンパス創立 60周年記念館防災設備更新工事による 2,585万円等です。

②設備関係支出 9億6,134万円は、教育研究用機器備品 9億2,243万円等です。

③第2号基本金引当特定資産は、矢巾地区整備事業資金として 2億円を積み立てました。

④貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 9億5,246万円、歯科貴金属 750万円、合計 9億5,996万円です。

(2) 負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高は 137 億 2,099 万円です。
- ②前受金残高 14 億 8,901 万円は、令和 5 年度入学生の学生生徒等納付金等です。
- ③預り金残高 8 億 1,369 万円は、源泉所得税 5,258 万円、県市町村民税 1 億 582 万円、私学共済掛金 1 億 5,571 万円等です。
- ④基本金は 2 億 20 万円を組入れし、1,349 億 7,384 万円となりました。
- ⑤当年度収支差額△40 億 3,390 万円と、前年度繰越収支差額△511 億 1,488 万円を合計し、基本金取崩額 349 万円を差し引いた翌年度繰越収支差額は、△551 億 4,529 万円となりました。
- ⑥純資産の部合計（基本金+繰越収支差額）は、前年度より 38 億 3,370 万円減少し、798 億 2,854 万円となりました。
- ⑦令和 4 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は、798 億 2,854 万円です。

※各科目の説明等は 56 ページ以降に記載しています。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

(1) 経営状況の分析

日本私立学校振興・共済事業団が公表している「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(※)」に当期決算を当てはめた結果、イエローゾーン（経営上看過できない兆候が見られるが、学校法人自ら経営改革努力を行うことにより経営改善が可能な状態）の予備的段階である「B0」区分に該当します。

令和 4 年度においては、エネルギー価格の高騰や物価上昇等が本学の財務状況に大きな影響を与えた中で、医療収入は前年度比増収と堅調を維持しており、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの資産を最大限に活かすことで、資金収支上は資金を確保していくことが可能な状態にあります。

※定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

教育研究活動のキャッシュフローを基礎に、外部負債と運用資産の状況により学校法人の経営状態を区分したものです。A1～D3 の 14 区分のうち、A3 以上が正常な経営状態となります。

(2) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

近年、18 歳人口の減少により大学淘汰の時代が到来していますが、医・歯・薬・看護学部を有する「医療系総合大学」として、教育・研究の更なる発展と、大学が担う社会的責任を果たすためには、入学定員の充足による学生生徒納付金の安定確保が不可欠です。

一方で、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも医療収入は年々増加しており、令和 4 年度における医療収入は過去最高の 400 億円を超えるまでになりました。

このような現状にあって、内丸メディカルセンター新棟の早期建設に向けた積立計画を着実に遂行するためには、収支状況の改善は喫緊の課題であり、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら大学運営のガバナンスを強化し、より一層、教育・研究の質向上と、医療収入等の増収を図るとともに、業務の効率化や更なるコスト削減を推進し、安定した経営基盤の堅持に努めてまいります。

4. 令和4年度事業活動収支計算書

＜収入の部＞		＜支出の部＞		(単位：千円)
区分	科目	金額	科目	金額
教育活動収支	1. 学生生徒等納付金	7,215,528	1. 人件費	22,935,976
	(1) 授業料	3,600,977	(1) 教員人件費	5,909,730
	(2) 入学金	482,475	(2) 職員人件費	15,662,413
	(3) 実験実習費	542,826	(3) 役員報酬	56,600
	(4) 教育充実費	1,286,600	(4) 退職金	148,243
	(5) 施設整備費	1,302,650	(5) 退職給与引当金繰入額	1,158,990
	2. 手数料	169,716	2. 諸経費	35,513,378
	3. 医療収入	40,070,423	(1) 医療経費	18,504,587
	(1) 入院収入	26,529,393	(2) 消耗品費	799,678
	(2) 外来収入	13,283,100	(3) 光熱水費	1,845,085
	(3) その他の医療収入	257,930	(4) 旅費	93,436
	4. 寄付金	795,787	(5) 印刷製本費	103,153
	(1) 特別寄付金	336,314	(6) 通信費	101,709
	(2) 一般寄付金	451,551	(7) 交通運搬費	51,635
	(3) 現物寄付	7,922	(8) 洗濯費	59,506
	5. 経常費等補助金	4,067,395	(9) 修繕費	441,900
	(1) 私立大学等経常費補助金	1,596,476	(10) 諸会費	92,213
	(2) その他の国庫補助金	631,753	(11) 賃借料	733,541
	(3) 地方公共団体補助金	1,839,166	(12) 業務委託費	5,738,806
	6. 付随事業収入	1,184,428	(13) 福利費	269,458
	(1) 補助活動収入	122,828	(14) 減価償却額	5,605,508
(2) 受託事業収入	1,021,141	(15) 公租公課	190,347	
(3) 附属事業収入	18,260	(16) その他	882,816	
(4) 保育料等収入	22,199			
7. 雑収入	865,425			
	A 教育活動収入計	54,368,702	E 教育活動支出計	58,449,354
活動外	8. 受取利息配当金	6,985	3. 借入金等利息	71,245
	B 教育活動外収入計	6,985	F 教育活動外支出計	71,245
特別	9. 資産売却差額	63	4. 資産処分差額	100,586
収入	10. その他の特別収入	411,739	5. その他の特別支出	0
	(1) 施設設備寄付金	102,300	(1) 過年度修正額	0
	(2) 施設設備現物寄付	58,994		
	(3) 施設設備補助金	248,446		
	(4) 過年度修正額	1,999		
	C 特別収入計	411,802	G 特別支出計	100,586
	D 事業活動収入計	54,787,489	H 事業活動支出計	58,621,185
	① 教育活動収支差額 (A-E)	△ 4,080,652	⑥ 基本金組入額合計	△ 200,200
	② 教育活動外収支差額 (B-F)	△ 64,260	⑦ 当年度収支差額 (⑤+⑥)	△ 4,033,896
	③ 経常収支差額 (①+②)	△ 4,144,912	⑧ 前年度繰越収支差額	△ 51,114,885
	④ 特別収支差額 (C-G)	311,216	⑨ 基本金取崩額	3,487
	⑤ 基本金組入前当年度収支差額 (D-H)	△ 3,833,696	⑩ 翌年度繰越収支差額 (⑦+⑧+⑨)	△ 55,145,294

5. 令和4年度資金収支計算書

<収入の部>		<支出の部>	
		(単位:千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 学生生徒等納付金収入	7,215,528	1. 人件費支出	22,846,295
2. 手数料収入	169,716	(1) 教員人件費支出	5,909,730
3. 寄付金収入	890,165	(2) 職員人件費支出	15,662,413
(1) 特別寄付金収入	438,614	(3) 役員報酬支出	56,600
(2) 一般寄付金収入	451,551	(4) 退職金支出	1,217,552
4. 補助金収入	4,315,843	2. 諸経費支出	29,976,879
(1) 国庫補助金収入	2,232,630	(1) 医療経費支出	18,602,093
(2) 地方公共団体補助金収入	2,083,213	(2) 一般教育研究経費支出	8,397,050
5. 資産売却収入	63	(3) 管理経費支出	2,977,736
6. 付随事業・収益事業収入	1,184,428	3. 借入金等利息支出	71,245
7. 医療収入	40,070,423	4. 借入金等返済支出	1,540,000
8. 受取利息・配当金収入	6,985	5. 施設関係支出	48,697
9. 雑収入	867,423	(1) 建物支出	32,964
10. 前受金収入	1,489,010	(2) 構築物支出	15,733
11. その他の収入	10,267,707	6. 設備関係支出	961,337
(1) 前期末未収入金収入	9,429,793	(1) 教育研究用機器備品支出	922,425
(2) 預り金受入等収入	837,914	(2) その他の設備関係支出	38,912
12. 資金収入調整勘定	△ 10,942,572	7. 資産運用支出	500,200
13. 前年度繰越支払資金	9,731,627	8. その他の支出	4,299,288
		(1) 前期末未払金支払支出	3,518,436
		(2) 預り金支払等支出	780,852
		9. 資金支出調整勘定	△ 3,508,694
		10. 翌年度繰越支払資金	8,531,099
収入の部合計	65,266,346	支出の部合計	65,266,346

6. 貸借対照表

令和5年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末	科 目	本 年 度 末
固定資産	97,423,643	固定負債	29,605,148
有形固定資産	88,100,221	長期借入金	15,765,000
土地	10,366,220	退職給与引当金	13,720,989
建物	61,886,282	長期未払金	119,159
構築物	2,499,353	流動負債	7,172,557
教育研究用機器備品	10,204,329	短期借入金	1,540,000
管理用機器備品	119,646	未払金	3,329,854
図書	3,010,572	業者未払金	2,738,156
車両	13,819	その他の未払金	591,698
特定資産	9,104,198	前受金	1,489,010
第2号基本金引当特定資産	4,800,000	授業料	414,662
第3号基本金引当特定資産	404,198	入学金	519,750
退職給与引当特定資産	2,700,000	実験実習費	63,213
償却資産引当特定資産	1,200,000	教育充実費	305,000
その他の固定資産	219,224	施設整備費	148,925
電話加入権	6,773	その他の前受金	37,460
敷金・保証金・預託金	1,683	預り金	813,693
有価証券	57,317	源泉徴収所得税	52,579
施設利用権	92,857	縣市町村民税	105,816
奨学金	45,420	私学共済掛金	155,707
ソフトウェア	7,538	その他の預り金	499,591
貸付金	7,636	負債の部合計	36,777,705
流動資産	19,182,606	純資産の部	
現金預金	8,531,099	基本金	134,973,838
未収入金	9,608,907	繰越収支差額	△ 55,145,294
貯蔵品	959,963	純資産の部合計	79,828,544
前払金	65,617		
仮払金	17,020		
資産の部合計	116,606,249	負債及び純資産の部合計	116,606,249

注記 ・ 退職給与引当金の額の算定は、次のとおりです。

期末要支給額12,843,959,937円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上しています。

・ 減価償却額の累計額の合計額 54,931,290,514円

・ 翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 15,550,197,331円

7. 医療収入内訳

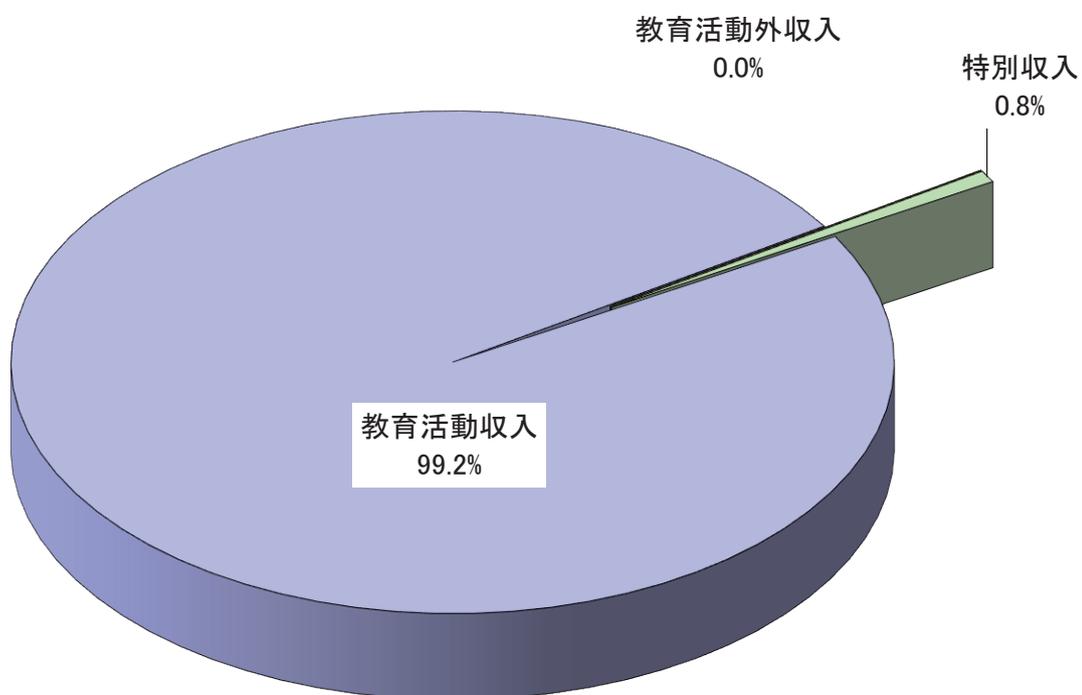
項 目			令和3年度決算	令和4年度決算
附属病院 (医科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	768人 88,976円 24,941,840千円 -	755人 88,408円 24,362,935千円 △2.3%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	616人 40,331円 6,608,472千円 -	640人 42,984円 7,372,662千円 11.6%
附属病院 (歯科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	9人 62,641円 205,776千円 -	8人 73,132円 213,546千円 3.8%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	43人 5,967円 68,256千円 -	39人 5,904円 61,708千円 △9.6%
高度救命救急センター	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	51人 75,356円 1,402,754千円 -	51人 77,677円 1,445,951千円 3.1%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	9人 27,972円 66,964千円 -	9人 26,749円 64,519千円 △3.7%
内丸メデイカル (医科) センター	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	20人 82,870円 604,954千円 -	20人 69,447円 506,962千円 △16.2%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	890人 19,595円 4,638,902千円 -	932人 19,981円 4,990,813千円 7.6%
メデイカル (歯科) センター 内丸	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	349人 9,394円 872,106千円 -	329人 8,998円 793,397千円 △9.0%
医療収入合計			39,410,024千円	39,812,493千円
その他の医療収入			262,809千円	257,930千円
総 合 計			39,672,833千円	40,070,423千円

注1) 各病院の入院患者数は在院患者数(24時現在の患者数)に退院患者数を加算した延べ患者数です。

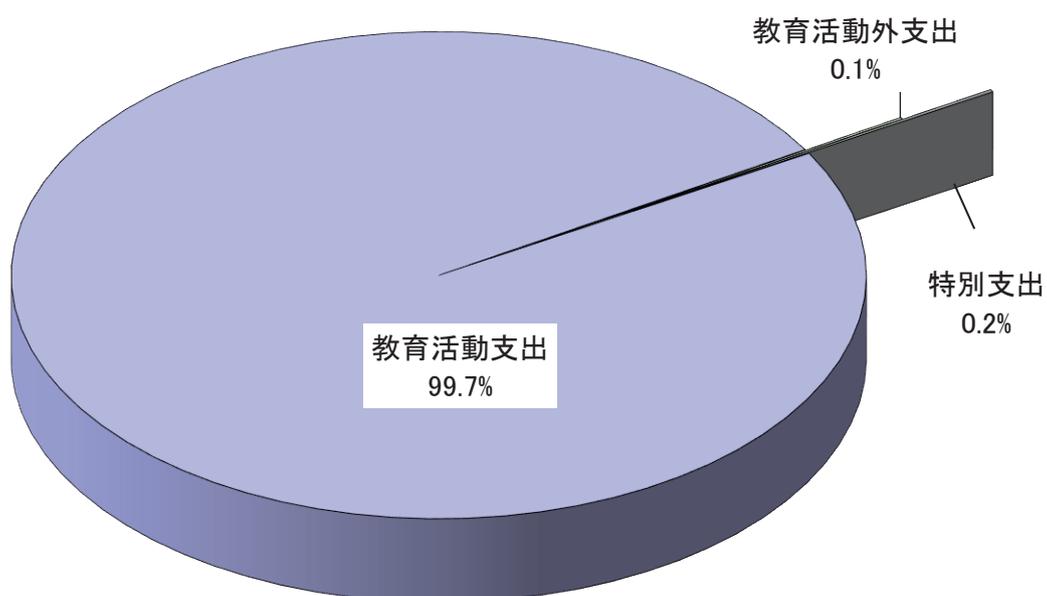
注2) 一人一日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。

8. 令和4年度事業活動収支構成比率

〔事業活動収入〕

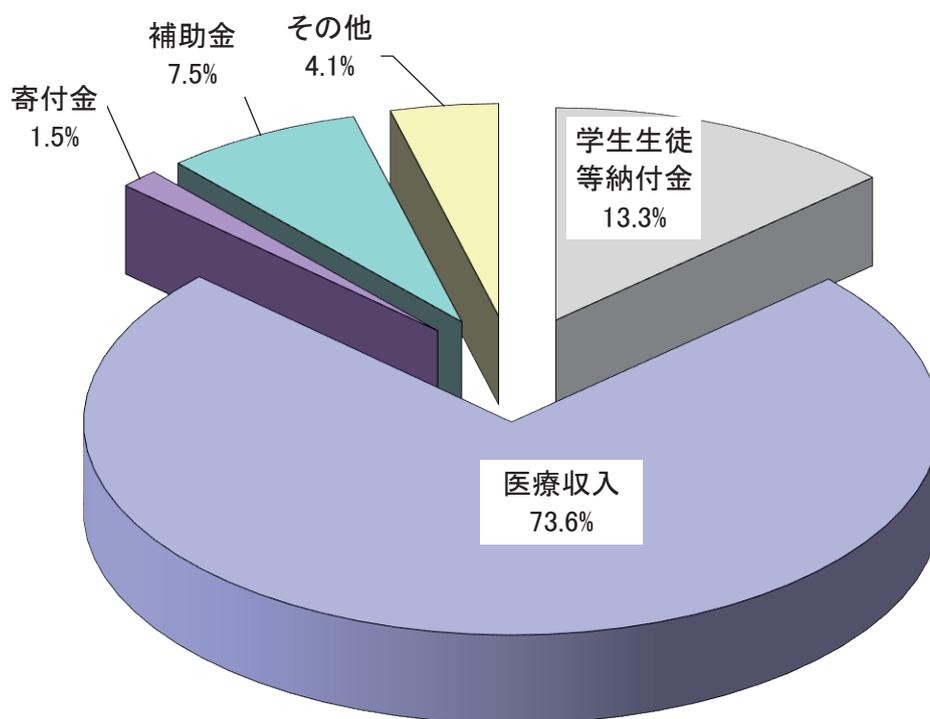


〔事業活動支出〕

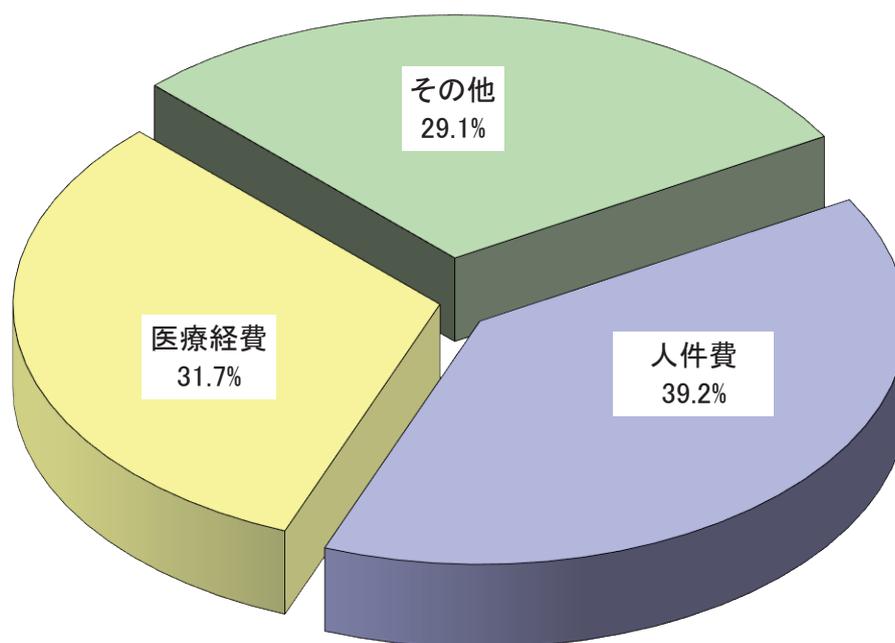


9. 令和4年度教育活動収支構成比率

〔教育活動収入〕



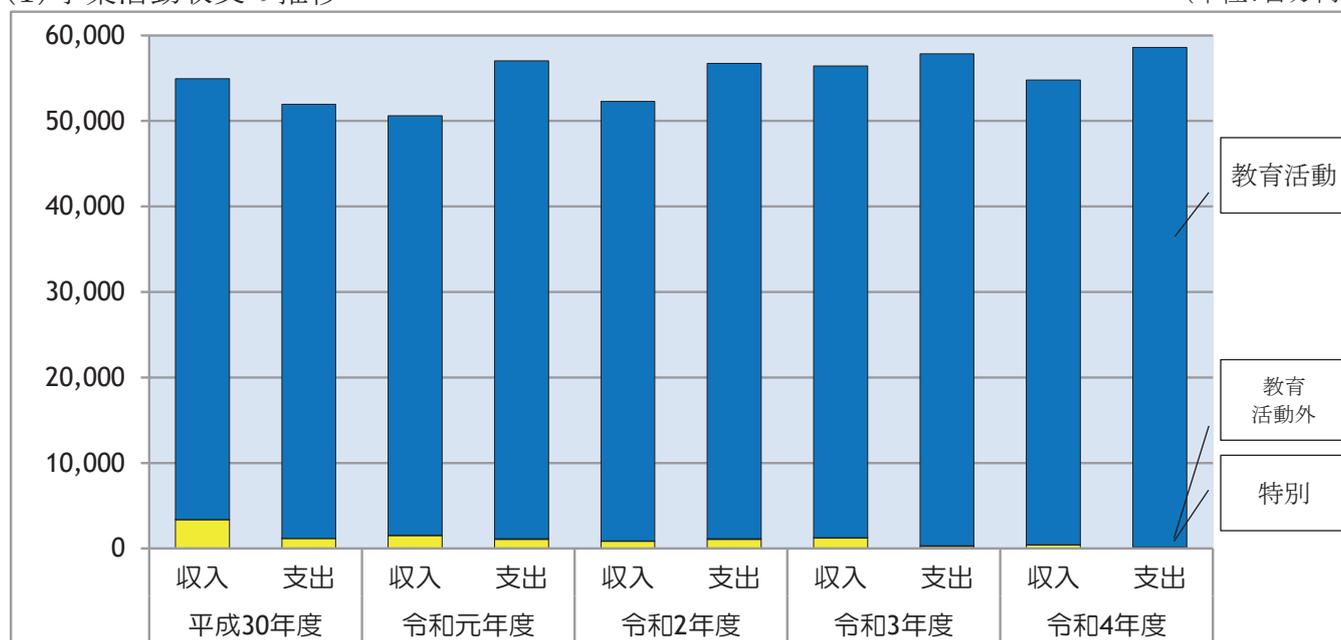
〔教育活動支出〕



10. 経年比較

(1) 事業活動収支の推移

(単位:百万円)



<事業活動収入>

(単位:百万円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収入	51,551	49,091	51,424	55,179	54,368
教育活動外収入	7	4	4	3	6
特別収入	3,377	1,521	849	1,250	411
事業活動収入計	54,935	50,618	52,277	56,434	54,787

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。以降も同様となります。

【構成比率】

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収入	93.8%	97.0%	98.4%	97.8%	99.2%
教育活動外収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別収入	6.2%	3.0%	1.6%	2.2%	0.8%
事業活動収入計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<事業活動支出>

(単位:百万円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動支出	50,785	55,909	55,612	57,554	58,449
教育活動外支出	7	65	77	76	71
特別支出	1,174	1,067	1,048	236	100
事業活動支出計	51,967	57,042	56,738	57,868	58,621

【構成比率】

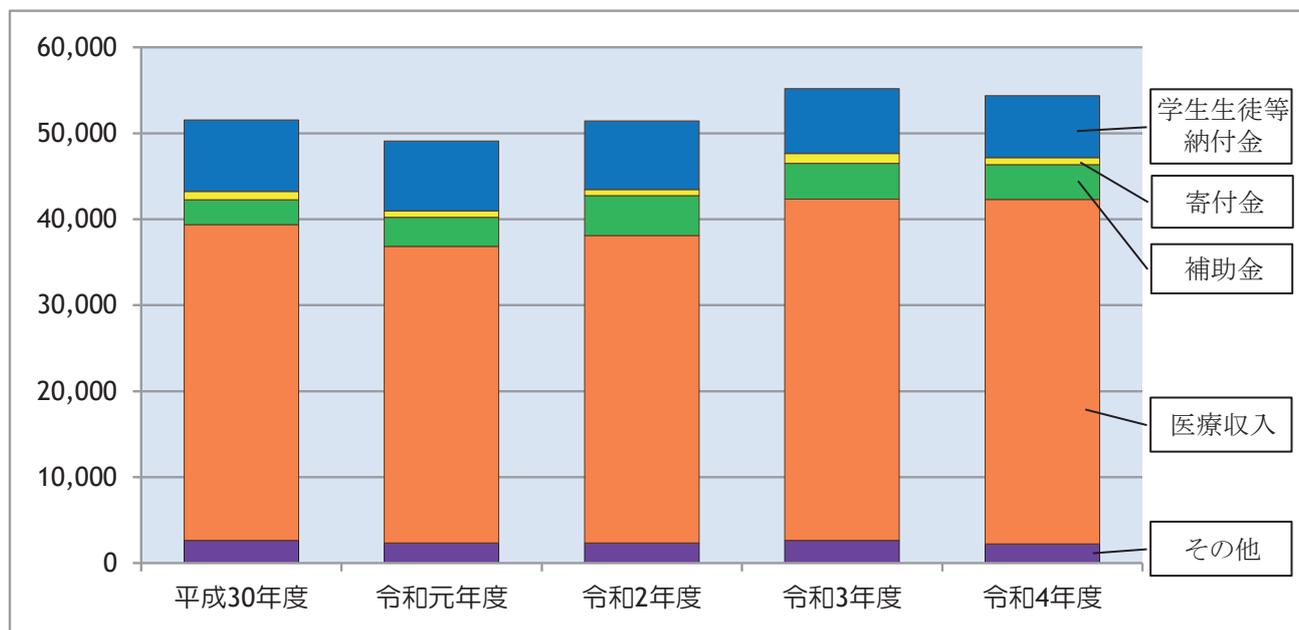
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動支出	97.7%	98.0%	98.1%	99.5%	99.7%
教育活動外支出	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
特別支出	2.3%	1.9%	1.8%	0.4%	0.2%
事業活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(2) 教育活動収支の推移

① 教育活動収入の推移

(単位:百万円)



< 教育活動収入 >

(単位:百万円)

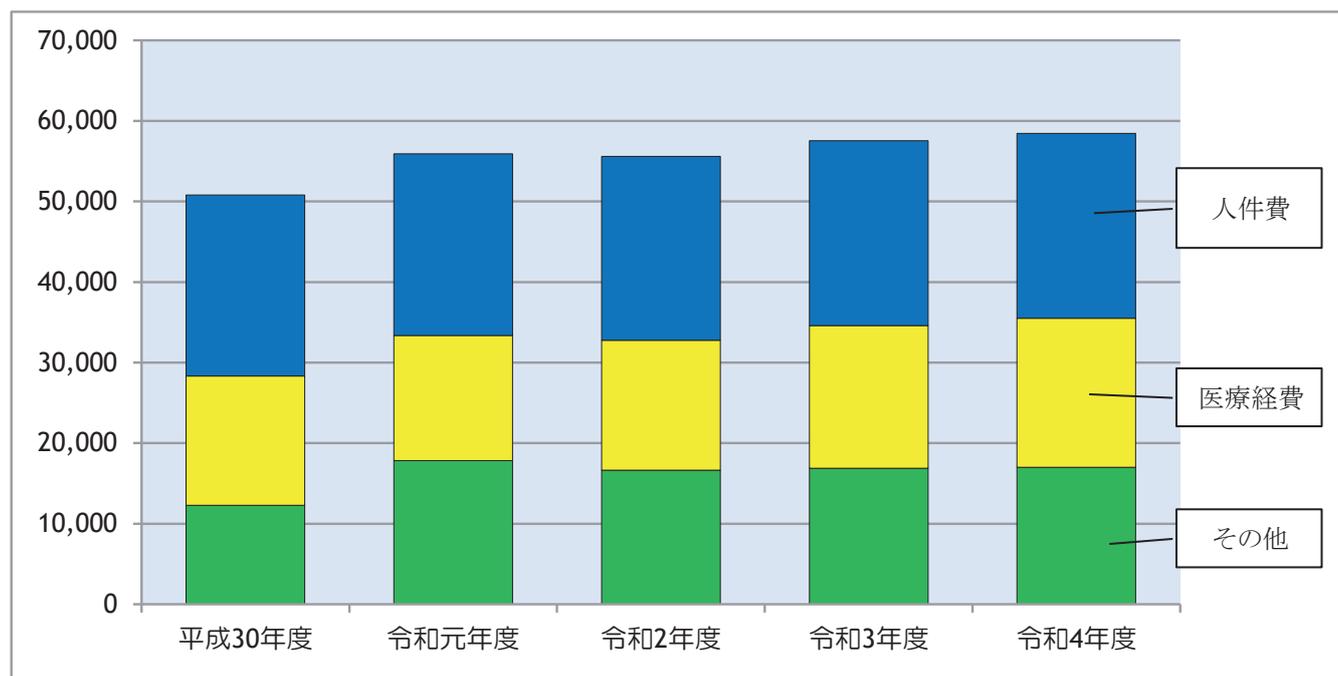
科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金	8,305	8,130	7,962	7,530	7,215
寄付金	965	730	726	1,135	795
経常費等補助金	2,901	3,407	4,630	4,191	4,067
付随事業収入	1,423	1,309	1,207	1,312	1,184
医療収入	36,737	34,476	35,753	39,672	40,070
雑収入他	1,218	1,038	1,144	1,337	1,035
教育活動収入合計	51,551	49,091	51,424	55,179	54,368

【構成比率】

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金	16.0%	16.6%	15.5%	13.6%	13.3%
寄付金	1.9%	1.5%	1.4%	2.1%	1.5%
経常費等補助金	5.6%	6.9%	9.0%	7.6%	7.5%
付随事業収入	2.8%	2.7%	2.4%	2.4%	2.2%
医療収入	71.3%	70.2%	69.5%	71.9%	73.6%
雑収入他	2.4%	2.1%	2.2%	2.4%	1.9%
教育活動収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②教育活動支出の推移

(単位:百万円)



<教育活動支出>

(単位:百万円)

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費	22,440	22,546	22,853	22,966	22,935
教育研究経費	25,716	29,273	29,211	30,959	32,134
医療経費	16,060	15,515	16,124	17,704	18,504
一般教育研究経費	9,656	13,758	13,087	13,255	13,630
管理経費	2,620	4,082	3,543	3,620	3,366
徴収不能額	7	7	4	8	11
教育活動支出計	50,785	55,909	55,612	57,554	58,449

【構成比率】

科目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費	44.2%	40.3%	41.1%	39.9%	39.2%
教育研究経費	50.6%	52.4%	52.5%	53.8%	55.0%
医療経費	31.6%	27.8%	29.0%	30.8%	31.7%
一般教育研究経費	19.0%	24.6%	23.5%	23.0%	23.3%
管理経費	5.2%	7.3%	6.4%	6.3%	5.8%
徴収不能額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(3) 資金収支の推移

①収入の推移

(単位:百万円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	8,305	8,130	7,962	7,530	7,215
寄付金収入	1,356	1,054	775	1,357	890
補助金収入	5,854	4,569	5,365	5,030	4,315
資産売却収入	0	3	23	0	0
付随事業・収益事業収入	1,423	1,309	1,207	1,312	1,184
医療収入	36,737	34,476	35,753	39,672	40,070
受取利息・配当金収入	7	4	4	3	6
雑収入他	1,218	1,038	1,144	1,338	1,037
長期借入金収入	0	20,000	0	0	0
短期借入金収入	4,000	8,500	0	0	0
前受金収入	1,446	1,399	1,448	1,333	1,489
その他の収入	23,257	16,518	8,370	9,716	10,267
資金収入調整勘定	△ 12,436	△ 9,130	△ 10,409	△ 10,890	△ 10,942
前年度繰越支払資金	21,272	18,537	9,381	9,233	9,731
収入の部合計	92,442	106,411	61,027	65,638	65,266

【構成比率】

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	9.0%	7.6%	13.0%	11.5%	11.1%
寄付金収入	1.5%	1.0%	1.3%	2.1%	1.4%
補助金収入	6.3%	4.3%	8.8%	7.7%	6.6%
資産売却収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
付随事業・収益事業収入	1.5%	1.2%	2.0%	2.0%	1.8%
医療収入	39.8%	32.4%	58.6%	60.4%	61.4%
受取利息・配当金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雑収入他	1.3%	1.0%	1.9%	2.0%	1.6%
長期借入金収入	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
短期借入金収入	4.3%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前受金収入	1.6%	1.3%	2.4%	2.0%	2.3%
その他の収入	25.2%	15.5%	13.7%	14.8%	15.7%
資金収入調整勘定	△ 13.5%	△ 8.5%	△ 17.1%	△ 16.6%	△ 16.8%
前年度繰越支払資金	23.0%	17.4%	15.4%	14.1%	14.9%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②支出の推移

(単位:百万円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	22,552	22,389	22,793	22,857	22,846
教育研究経費支出	22,758	24,913	23,867	25,559	26,999
医療経費支出	16,072	15,808	16,144	17,693	18,602
一般教育研究経費支出	6,685	9,105	7,723	7,866	8,397
管理経費支出	2,506	3,679	3,028	3,180	2,977
借入金等利息支出	7	65	77	76	71
借入金等返済支出	0	12,500	0	1,155	1,540
施設関係支出	26,280	7,642	442	612	48
設備関係支出	763	10,645	1,405	859	961
資産運用支出	2,000	2,500	500	500	500
その他の支出	12,056	15,701	3,660	4,640	4,299
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 15,019	△ 3,007	△ 3,982	△ 3,535	△ 3,508
翌年度繰越支払資金	18,537	9,381	9,233	9,731	8,531
支出の部合計	92,442	106,411	61,027	65,638	65,266

【構成比率】

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	24.4%	21.0%	37.4%	34.8%	34.9%
教育研究経費支出	24.6%	23.4%	39.1%	39.0%	41.3%
医療経費支出	17.4%	14.9%	26.4%	27.0%	28.4%
一般教育研究経費支出	7.2%	8.5%	12.7%	12.0%	12.9%
管理経費支出	2.7%	3.5%	5.0%	4.8%	4.6%
借入金等利息支出	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
借入金等返済支出	0.0%	11.7%	0.0%	1.8%	2.4%
施設関係支出	28.4%	7.2%	0.7%	0.9%	0.1%
設備関係支出	0.8%	10.0%	2.3%	1.3%	1.5%
資産運用支出	2.2%	2.3%	0.8%	0.8%	0.8%
その他の支出	13.0%	14.8%	6.0%	7.1%	6.6%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 16.2%	△ 2.8%	△ 6.5%	△ 5.4%	△ 5.4%
翌年度繰越支払資金	20.1%	8.8%	15.1%	14.8%	13.1%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

V 財務の概要

(4) 貸借対照表の推移

①資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	98,505	109,154	105,453	101,560	97,423
有形固定資産	88,251	101,300	97,096	92,721	88,100
土地	10,376	10,347	10,347	10,347	10,366
建物	29,313	70,092	67,372	64,815	61,886
その他の有形固定資産	48,561	20,861	19,377	17,556	15,848
特定資産	9,988	7,603	8,103	8,603	9,104
その他の固定資産	265	250	253	235	219
流動資産	30,200	18,003	19,193	20,101	19,182
現金預金	18,537	9,381	9,233	9,731	8,531
その他の流動資産	11,662	8,622	9,960	10,369	10,651
資産の部合計	128,705	127,158	124,646	121,661	116,606

②負債の推移

(単位:百万円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定負債	11,706	32,651	32,399	30,960	29,605
長期借入金	0	20,000	18,845	17,305	15,765
その他の固定負債	11,706	12,651	13,554	13,655	13,840
流動負債	21,017	4,950	7,150	7,038	7,172
短期借入金	4,000	0	1,155	1,540	1,540
その他の流動負債	17,017	4,950	5,995	5,498	5,632
負債の部合計	32,723	37,601	39,550	37,999	36,777

③純資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本金	127,878	132,819	133,378	134,777	134,973
第1号基本金	117,065	124,692	125,051	126,249	126,245
第2号基本金	6,885	4,200	4,400	4,600	4,800
第3号基本金	403	403	403	403	404
第4号基本金	3,524	3,524	3,524	3,524	3,524
繰越収支差額	△ 31,896	△ 43,262	△ 48,281	△ 51,114	△ 55,145
純資産の部合計	95,981	89,557	85,096	83,662	79,828

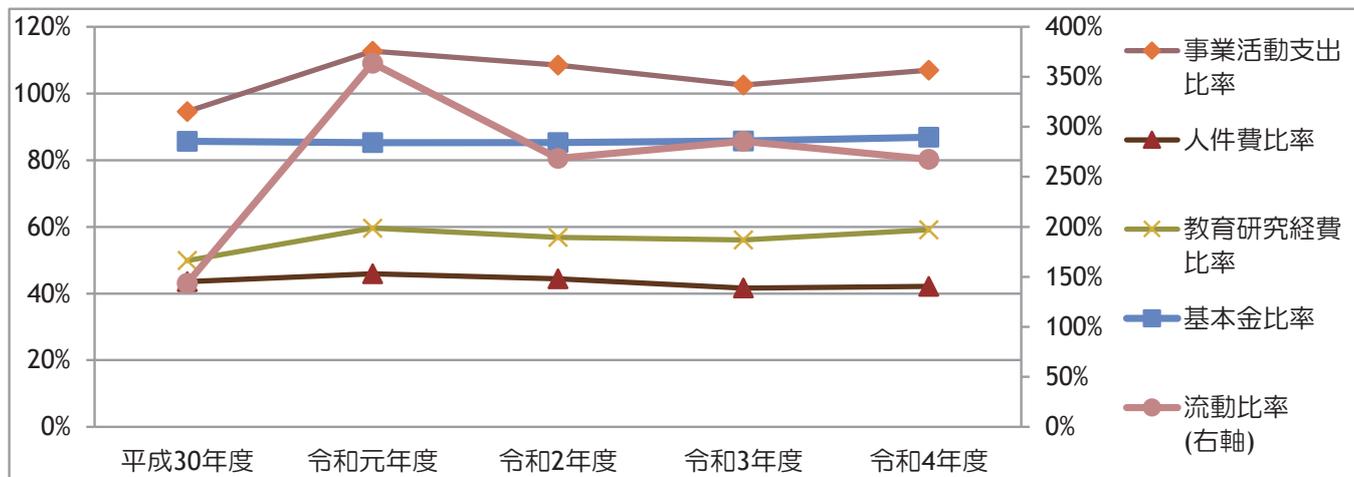
④負債及び純資産の部合計推移

(単位:百万円)

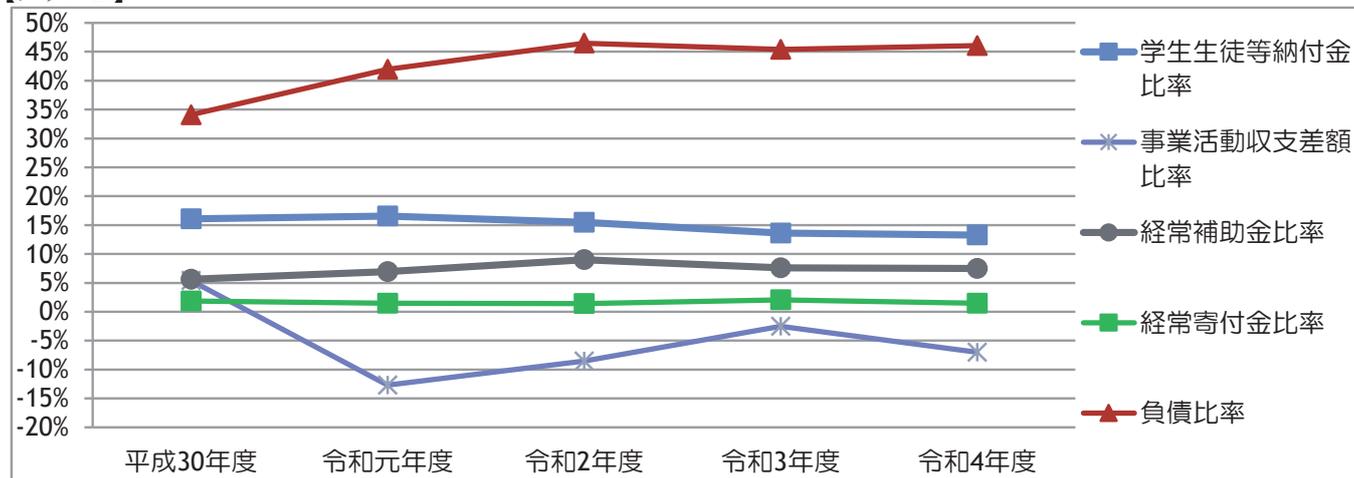
科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
負債及び純資産の部合計	128,705	127,158	124,646	121,661	116,606

(5) 主要財務比率の推移

【グラフA】



【グラフB】



※経常収入＝教育活動収入+教育活動外収入

主要財務比率		計算式	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
グラフA	1 事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	94.6%	112.7%	108.5%	102.5%	107.0%
	2 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	43.5%	45.9%	44.4%	41.6%	42.2%
	3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	49.9%	59.6%	56.8%	56.1%	59.1%
	4 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.7%	85.2%	85.3%	85.8%	86.9%
	5 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	143.7%	363.7%	268.4%	285.6%	267.4%
グラフB	6 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	16.1%	16.6%	15.5%	13.6%	13.3%
	7 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	5.4%	△12.7%	△8.5%	△2.5%	△7.0%
	8 経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	5.6%	6.9%	9.0%	7.6%	7.5%
	9 経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	1.9%	1.5%	1.4%	2.1%	1.5%
	10 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	34.1%	42.0%	46.5%	45.4%	46.1%

11. 学校法人会計の特徴について

1、学校法人会計の特徴と企業会計との違い

学校法人は、永続的な教育研究活動の維持向上を主目的とした非営利組織であり、国や地方公共団体より補助を受けている公共性の高い組織でもあります。そのため、昭和46年に制定された「学校法人会計基準」に則り、営利の追求を目的とする企業会計とは異なる独自の会計処理が義務付けられています。

	学 校 法 人	企 業
組織の目的	永続的な教育研究活動の維持向上 (非営利組織)	利益の獲得、出資者への還元 (営利組織)
会計処理	学校法人会計基準	企業会計原則

2、学校法人会計における作成書類

学校法人会計基準では、基本的な会計処理のルールについては複式簿記の原則や企業会計原則を踏襲しておりますが、財務書類については学校法人会計独自の書類作成が必要となります。

①事業活動収支計算書（企業会計：損益計算書）

当該会計年度の収入と支出の内容と均衡状態を明確にし、学校法人の経営状態を表す財務書類です。

企業会計における損益計算書に相当しますが、企業の経営成績を示すために当該会計年度の収益と費用を計算し損益管理を行うことを目的とする損益計算書に対し、事業活動収支計算書では、利益追求を目的としない学校法人の諸活動を損益ではなく収支として表示し、基本金(※)への組入額を加味した収支の差額によって経営状態を表すことを目的としています。

なお、資金収支計算書で計上されない現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されますが、負債となる借入金や前受金(翌年度に計上すべき収入の入金分)、固定資産取得に係る支出等については計上されません。

※基本金

学校法人が諸活動を行うにあたっての必要な資産を継続的に維持するために組み入れた金額です。

企業会計における資本金に類似していますが、出資者の出資額を表す資本金に対し、基本金は、学校法人設立時に受け入れた寄付金や設立後の事業活動で獲得した自己資金により、基本金組入対象の資産を取得する金額を表します。

事業活動収支の基本金組入前当年度収支差額は、当年度の収支状況を示しますが、基本金組入対象資産は当年度に獲得した自己資金だけで取得するものではなく、学校法人が将来のために準備した積立金なども取得の原資となります。

そのため、基本金組入後の当年度収支差額によって示された経営状態は、資金収支計算書および貸借対照表とあわせて評価する必要があります。

②資金収支計算書（企業会計：キャッシュフロー計算書）

全ての収入及び支出の内容と資金の流れを明らかにする財務書類です。

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当しますが、資金の獲得能力や支払能力の分析を目的とするキャッシュフロー計算書に対し、資金収支計算書では、当該会計年度の諸活動における全ての収支の内容及び支払資金の顛末を明らかにすることを目的としています。

なお、現預金が増減する諸活動全てが収支として計上されますが、現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されません。

③貸借対照表（企業会計：貸借対照表）

当該年度末時点での学校法人の資産、負債、純資産（資産－負債）の額によって財政状況を明らかにするための財務書類です。

事業活動収支計算書及び資金収支計算書は単年度の収支状況を表していますが、貸借対照表は今までの財政活動における累計額を表します。

なお、企業会計における貸借対照表とほぼ同様の様式となっていますが、企業会計では資本金を表示する部分について、学校法人会計では基本金を表示するといった違いがあります。

	学 校 法 人	企 業
財務書類	事業活動収支計算書	損益計算書
	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	貸借対照表	貸借対照表

①事業活動収支計算書の科目説明

教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金	金銭その他資産を寄贈者から贈与されたもので補助金とならないもの
経常費等補助金	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金	国から交付される補助金
地方公共団体補助金	地方公共団体から交付される補助金
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
教育活動収入計	教育活動収入科目の合計額
事業活動支出の部	
人件費	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金、退職給与引当金への繰入額等
教育研究経費	教育研究のために支出する経費
医療経費	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費	医療経費以外の教育研究経費
管理経費	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
徴収不能額	債権について徴収不能となった額
教育活動支出計	教育活動支出科目の合計額
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	預金利息および株式の配当金
教育活動外収入計	教育活動外収入科目の合計額
事業活動支出の部	
借入金等利息	借入金の支払利息
教育活動外支出計	教育活動外支出科目の合計額
経常収支差額	法人の経常的な活動である、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	資産の売却で、代価が帳簿残高を超えたときの超過額
その他の特別収入	施設設備の取得に係る寄付金・補助金等の収入、過年度決算の誤りによる収入等
特別収入計	特別収入科目の合計額
事業活動支出の部	
資産処分差額	資産の売却で代価が帳簿価格を下回った時の差額
その他の特別支出	過年度決算の誤りによる支出等
特別支出計	特別支出科目の合計額
基本金組入前当年度収支差額	当該年度の事業活動収入から事業活動支出を引いた収支差額
基本金組入額合計	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、収入のうちから組入れる額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引した合計額
前年度繰越収支差額	前年度まで繰り越された、当年度収支差額の累計額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額を足した、翌年度に繰り越される収支差額

②資金収支計算書の科目説明

収入の部	
科 目	摘 要
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手 数 料 収 入	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄 付 金 収 入	金銭を寄贈者から贈与されたもので補助金としないもの
補 助 金 収 入	国または地方公共団体からの補助金
国 庫 補 助 金 収 入	国から交付される補助金
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	地方公共団体から交付される補助金
資 産 売 却 収 入	資産の売却収入
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医 療 収 入	医療に関わる収入
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	預金利息および株式の配当金
雑 収 入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
借 入 金 等 収 入	借入金等の収入
前 受 金 収 入	翌年度入学の学生等に係る学納金収入等
そ の 他 の 収 入	上記の各収入以外の収入
資 金 収 入 調 整 勘 定	当会計年度の諸活動に対する収入で前会計年度以前に支払資金収入になったもの、 当会計年度の諸活動に対する収入で翌会計年度以降に支払資金を受入れるもの
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	期首の現預金残高
収 入 の 部 合 計	各収入科目の合計額
支出の部	
科 目	摘 要
人 件 費 支 出	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金等
教 育 研 究 経 費 支 出	教育研究のために支出する経費
医 療 経 費 支 出	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一 般 教 育 研 究 経 費 支 出	医療経費以外の教育研究経費
管 理 経 費 支 出	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
借 入 金 等 利 息 支 出	借入金等の支払利息
借 入 金 等 返 済 支 出	借入金等の返済支出
施 設 関 係 支 出	土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出
設 備 関 係 支 出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の支出
資 産 運 用 支 出	有価証券の取得、引当特定資産の繰入支出等
そ の 他 の 支 出	上記の各支出以外の支出
資 金 支 出 調 整 勘 定	当該会計年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前に資金を支払ったもの、 当会計年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後に資金が支払うもの
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	期末の現預金残高
支 出 の 部 合 計	各支出科目の合計額

③貸借対照表の科目説明

資産の部	
科 目	摘 要
固 定 資 産	有形固定資産、特定資産及びその他の固定資産
有 形 固 定 資 産	土地、建物、構築物、機器備品等の形が有る資産
土 地	校舎敷地、運動場等
建 物	校舎、体育館、建物に附属する電気設備、空調設備等
その他の有形固定資産	土地、建物以外の有形固定資産
特 定 資 産	施設の拡充等に係る預金等の用途を特定する資産
その他の固定資産	有価証券やソフトウェア、敷金等の形が無い資産
流 動 資 産	資産のうち、1年以内に現金化、費用化できるもの
現 金 預 金	現金及びいつでも引き出すことができる預貯金
その他の流動資産	現金預金以外の流動資産
資 産 の 部 合 計	固定資産と流動資産の合計額
負債の部	
科 目	摘 要
固 定 負 債	長期借入金、長期未払金等の支払期限が1年を超える負債
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金
その他の固定負債	長期借入金以外の固定負債
流 動 負 債	短期借入金、未払金等の支払期限が1年以内である負債
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内である借入金
その他の流動負債	短期借入金以外の流動負債
負 債 の 部 合 計	固定負債と流動負債の合計額
純資産の部	
科 目	摘 要
基 本 金	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして組み入れた金額
第 1 号 基 本 金	固定資産に対応する基本金
第 2 号 基 本 金	施設の拡充に対応する基本金
第 3 号 基 本 金	奨学資金に対応する基本金
第 4 号 基 本 金	恒常的な支払資金に対応する基本金
繰 越 収 支 差 額	繰り越される収支差額
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	翌年度に繰り越される収支差額
純 資 産 の 部 計	基本金と繰越収支差額の合計額
科 目	摘 要
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負債の部と純資産の部の合計額



岩手医科大学

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

Tel 019-651-5111 (代表)

www.iwate-med.ac.jp

発行 令和5年5月29日 岩手医科大学 法人事務部企画調整課

